

# 非住宅・木造低層小規模建築物 施工管理図書作成の手引き

～発注者の満足度の高い現場運営と  
施工管理図書の活用に向けて～



公益財団法人 日本住宅・木材技術センター



## はじめに

本資料は、林野庁「民間建築物等における木材利用促進に向けた協議会」（ウッド・チェンジ協議会）における低層小規模建築物グループの活動をまとめたもので、木造建築の推進に際して直接的に建設に関わる関係者向け、特に、これまで非住宅木造建築の建設経験の少ない地域の工務店、施工者等を対象としています。

非住宅用途の木造建築のうち、規模が小さく、住宅の仕様や施工方法を準用して建設できる建物の場合、そこで用いられる構造体の建築資材は、住宅と大きく異なることはありません。

ただし、建物の工事内容に応じて、①資格や届け出等が必要となる。②規模や用途に応じた施工管理に係る仮設等の設備が必要で、その調達・施工管理を行う必要がある。③スパンが大きい場合や階高が高い場合は、一般の住宅では使用しない資材（集成材、LVL、トラス等）が必要となり、それらの部材・部品の調達・施工管理を行う必要がある。④基礎の大型化や②③の資材の搬入方法、及び使用重機の手配等の管理が必要となる。等、住宅とは異なる対応が必要となります。

こうした住宅とは異なる建物の施工管理を確実かつ効率的に行うためには、工事に関わる発注者・設計者・施工者の三位一体の連携作業が不可欠となり、連携のための情報共有ツールとしての施工管理図書の整備が必要となります。

今般、本グループでは、地域工務店等が実際の非住宅木造建築の施工管理図書整備時に参考となる「非住宅・木造低層小規模建築物 施工管理図書作成の手引き」を取りまとめました。手引きには、非住宅用途の木造低層小規模建築物の施工管理時に必要となる施工管理図書の様式（フォーマット）とともに、実際の施工管理図書作成時に参照してなぞることができる、設計モデルを対象とした図書の作成例と作成時の留意点等を掲載しています。

本手引きを活用することで、発注者に喜ばれる非住宅の木造建築が増えていくことを期待しています。

大橋 好光

ウッド・チェンジ協議会／低層小規模建築物グループ

工務店等支援体制の構築事業検討委員会

主査・委員長

東京都市大学名誉教授



# 非住宅・木造低層小規模建築物施工管理図書作成の手引き

～発注者の満足度の高い現場運営と施工管理図書の活用に向けて～

## 目 次

はじめに

|                                   |     |
|-----------------------------------|-----|
| 第1章 本手引きの目的・内容と活用方法 .....         | 1   |
| 第2章 重点施工管理図書の様式一覧.....            | 7   |
| 第3章 重点施工管理図書の作成例に用いた設計モデル .....   | 11  |
| 第4章 総合施工計画書 .....                 | 25  |
| 第5章 木工事（構造）施工計画書 .....            | 35  |
| 第6章 施工計画書添付図書 .....               | 65  |
| 第7章 施工管理図書作成にかかる記載事項及び留意事項等 ..... | 117 |
| 参考文献 .....                        | 130 |



# 第1章

本手引きの目的・内容と活用方法

## 第1章 本手引きの目的・内容と活用方法

### 1.1 本手引き作成の背景

近年、脱炭素社会・持続可能な社会の構築のため、「持続可能な開発目標（SDGs）」への対応、「環境、社会、企業統治の要素を考慮した投資（ESG 投資）」の推進が強く意識されるようになりました。

今後この二つの流れに沿うものとして、建築物の木造化・木質化を図ることが評価されていくことが予想されます。

こうした背景の元、地域産業の振興を通じた地域の活性化、木材活用を通じた森林資源や地球環境の保全を目的として、全国的に木造建築の整備推進の追い風が吹いています。それを実践するために、地域のつくり手による地域に根ざした木造建築の推進が求められています。

また、住宅需要が減少傾向にある現在、住宅建設に加えて、事務所、店舗、高齢者施設などの非住宅の木造建築の需要も高まりつつあります。地域の活性化と、さらなる非住宅木造建築の推進には、今まで地域の住宅建築を支えてきた地域工務店等の幅広い参画が望まれています。

#### （１）工事関係者の情報共有にもとづいた確実な施工管理の必要性

非住宅木造建築の工事は、公共建築や事業用建築であることが多く、発注者、設計者、施工者（元請業者、協力業者）の三位一体の連携作業が不可欠です。

発注者の要望を確実に実現するには、「品質」、「工期」、「工事費」、「安全」に関する情報を適時適確に共有・確認し、間違い・手戻りのない効率的な施工管理を実施することが必要です。

#### （２）手戻りのない確実な施工管理を効率的に行う情報共有ツールとしての施工管理図書の整備

発注者、設計者、施工者の三者が効率よく連携するための情報共有ツールとして、RC 造・鉄骨造等の公共建築や事業用建築の工事实施の際に整備されている「施工管理図書」の活用が有効であることが認識されています。

非住宅木造建築の工事に際しても、施工管理図書を情報共有ツールとして活用することが施工管理の効率化の上で有効と考えられます。

本手引きでは、施工管理図書の活用方法と効果を図1のように位置付けています。

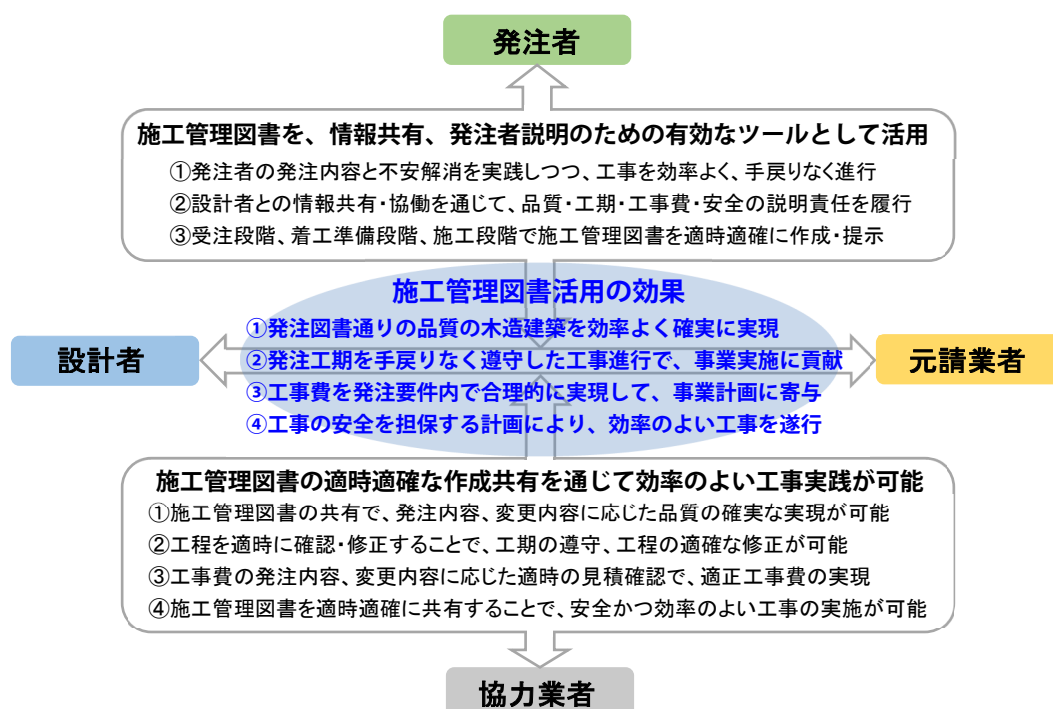


図1 施工管理図書の活用方法と効果

## 1.2 本手引きで扱う施工管理図書

本手引きには、非住宅木造建築の施工管理に携わる上で不可欠な図書を、重点施工管理図書として簡潔に整理し、着工前準備時の「総合施工計画書と関連図書」及び施工管理実施時の「木工事（構造）施工計画書」の2つの様式（フォーマット）とその作成例を掲載しています。

本手引きで扱う施工管理図書は表1の通りです。Ⅰ．着工前準備段階で必要となる図書と、Ⅱ．施工計画段階で必要となる図書に分けて解説しています。

表1 本手引きで扱う重点施工管理図書

| 工事段階    | 目的                            | 施工管理図書        | 内容                                                                        |
|---------|-------------------------------|---------------|---------------------------------------------------------------------------|
| Ⅰ.着工前準備 | 工事全般にかかる体制・工程・仮設計画・安全管理等の計画   | 総合施工計画書及び関連図書 | Ⅰ-①工事全般にかかる概要・体制・工程・安全管理等の計画<br>Ⅰ-②着工前に計画が必要となる仮設及び施工関連の図書                |
| Ⅱ.施工計画  | 各種工事の管理体制、工事の管理内容を定めた施工要領等の計画 | 木工事（構造）施工計画書  | Ⅱ-①木工事（構造）にかかる概要・体制・工程等の計画<br>Ⅱ-②木工事（構造）にかかる施工要領<br>Ⅱ-③木工事（構造）関連の安全管理等の計画 |

### 1.3 本手引きの活用方法

戸建て住宅に特化した施工管理においては、一般的に施工管理図書が整備されることは少なく、これらの施工管理図書の整備に慣れた地域工務店等は多くないと考えられます。

本手引きの施工管理図書の作成例は、地域工務店の設計者が計画した設計モデル（第3章に掲載）を元に整備していますので、施工管理図書の整備経験が少ない方でも、実物件の施工管理の場面において、作成例を透写（トレース）することにより、最小限の労力で非住宅木造建築の施工管理図書の整備が可能です。

### 1.4 本手引きの対象とする範囲

#### （1）敷地・建物

本手引きでは、以下のような敷地、非住宅・木造低層小規模建築物を想定して施工管理図書を整備しています。

敷地は、防火上の制約が比較的少ない敷地を想定し、建物の用途・規模は、波及効果が高いと考えられる、延べ面積 1,000 m<sup>2</sup>未満程度の2階建て事務所を想定しています。概要を表2に示します。

表2 本手引きで対象とする敷地、非住宅・木造低層小規模建築物

| 項目        |     | 内容                                                                                                                                                                    |
|-----------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 敷地    |     | 全国（法 22 条区域またはその他の地域の一般的な敷地（1,500～2,000 m <sup>2</sup> 程度）を設定）                                                                                                        |
| (2) 用途    |     | 事務所                                                                                                                                                                   |
| (3) 階数・規模 |     | 2 階建てまたは 3 階建て・延べ面積 1,000 m <sup>2</sup> 未満程度                                                                                                                         |
| (4) 工期    |     | 6～7 ヶ月程度                                                                                                                                                              |
| (5) 構法    |     | 製材・集成材による軸組構法                                                                                                                                                         |
| (6) 材料    | ①木材 | ・柱 120×120 程度まで（製材及び集成材）<br>・梁 H240 までの規格流通材の製材と中断面以下の集成材<br>※住宅用プレカット加工機による加工が可能な部材寸法及び加工形状とする。                                                                      |
|           | ②金物 | ・既製品を基本とする。                                                                                                                                                           |
| (7) 防耐火性能 |     | その他の建築物<br>※法 22 条区域、その他の地域において、事務所は 3 階建て 3,000 m <sup>2</sup> まで「その他の建築物」にて建設可能ですが、規模拡大に伴い施工管理すべき事項が増え、施工管理体制の強化が必要となるため、本手引きでは 1,000 m <sup>2</sup> 未満程度を対象としています。 |

## (2) 本手引きを活用する地域工務店等

本手引きは、非住宅木造建築物の実績は多くはないものの、元請として受注し、一定の施工管理を行うことが可能な地域工務店等が活用することを想定しています。

地域工務店等の実績、保有資格、現場管理体制等についての類型(表3)のうち、No.2～4、特にNo.3、4のタイプを主な活用対象として想定していますが、その他の地域工務店等の活用を拒むものではありません。

本手引きの活用対象とする地域工務店等

 : 主たる対象

表3 地域工務店等の類型と本手引きの活用対象

| No. | ①非住宅<br>木造建築物の<br>元請／下請の別 | ②非住宅木造建築物<br>の施工経験                     | ③公共工事<br>の受注実績 | ④建設業許可の<br>取得状況    | ⑤現場管理者の<br>在籍状況 |
|-----|---------------------------|----------------------------------------|----------------|--------------------|-----------------|
| 1   | 元請                        | 多数の実績あり                                | 多数あり           | 特定                 | 監理技術者<br>が在籍    |
| 2   | 元請                        | 非住宅木造建築物の設計・施工の一定の経験あり                 | 一定の実績あり        | 特定                 | 監理技術者<br>が在籍    |
| 3   | 元請                        | 住宅の仕様・構法を準用できる非住宅木造建築物の建設の経験あり         | 実績はあり          | 特定                 | 監理技術者<br>が在籍    |
| 4   | 下請                        | 主に住宅生産に従事しており、非住宅木造建築物の建設にこれから取り組む意欲あり | なし             | 一般<br>(今後、特定を取得予定) | 主任技術者<br>が在籍    |
| 5   | 下請                        | 現時点では住宅生産に従事し、非住宅木造建築物の建設に取り組む予定をしていない | なし             | 一般                 | 主任技術者<br>が在籍    |

なお、施工管理図書の作成にあたり、設計事務所等による設計図書(意匠・構造・設備に係る全ての設計図書を含む)があることを前提とし、設計業務は含まないこととしています。



## 第2章

### 重点施工管理図書の様式一覧

## 第2章 重点施工管理図書の様式一覧

本章では、重点施工管理図書として位置付けた「総合施工計画書と関連図書」及び「木工事（構造）施工計画書」の様式（フォーマット）とその作成例の一覧を掲載しています（表 4-1、4-2）。

重点施工管理図書は、工事段階（木工事（構造）における施工管理の段階）ごとに以下の項目で整理しています。

- ・重点施工管理図書の名称
- ・本手引きで取り扱っている項目
- ・図書の区分（図面、リスト等、図書の内容に応じて類型化した区分）
- ・添付図書の有無（設計モデルを元に作成した添付図書）

なお、本重点施工管理図書の様式の一覧は、あくまで一例を示したものであり、全ての工事に共通で使用できるものではありません。建物規模や工事内容等に応じて、図書や項目の追加・省略・代替等の検討が必要です。

また、本手引きで取り扱っていない木工事（構造）関連以外の工事や、大規模工事等で必要となる施工管理図書等については、住宅生産者、プレカット事業者、及び建設事業者の団体等が発行している資料をはじめとする既往施工管理図書の事例の活用が可能です。

表 4-1 重点施工管理図書の様式の一覧（着工前準備）

凡例 図書の区分

|      |                    |
|------|--------------------|
| 図面   | 各種計画図、施工図等の図面類     |
| リスト  | 各種仕様、精度基準等のチェックリスト |
| 図    | 工程表、各種手順、体制図等      |
| 書類   | 見積書、合法性確認証明書类等     |
| 管理基準 | 各種基準、仕様等の遵守事項      |

| No.      | 工事段階                                | 重点施工管理図書の名称             | 本手引きで取り扱っている項目       |                     | 図書の区分 | 添付図書の有無 |   |
|----------|-------------------------------------|-------------------------|----------------------|---------------------|-------|---------|---|
| 1        | Ⅰ 着工前準備                             | 総合施工計画書<br>※第4章を参照ください。 | 1.総則                 | 1.1 適用範囲            | 管理基準  |         |   |
| 2        |                                     |                         |                      | 1.2 適用図書            |       |         |   |
| 3        |                                     |                         |                      | 1.3 疑義、変更           |       |         |   |
| 4        |                                     |                         |                      | 1.4 その他             |       |         |   |
| 5        |                                     |                         | 2.工事概要               |                     |       | リスト     |   |
| 6        |                                     |                         | 3.工程表                |                     |       | 図       | ● |
| 7        |                                     |                         | 4.施工管理体制             | 4.1 管理体制図           |       |         |   |
| 8        |                                     |                         |                      | 4.2 非常時連絡体制図        |       |         |   |
| 9        |                                     |                         | 5.工程管理・品質管理          | 5.1 工程表の作成          | 管理基準  |         |   |
| 10       |                                     |                         |                      | 5.2 作業時間            |       |         |   |
| 11       |                                     |                         |                      | 5.3 工程打合せ           |       |         |   |
| 12       |                                     |                         |                      | 5.4 施工計画書に基づいた施工管理  |       |         |   |
| 13       |                                     |                         |                      | 5.5 材料の品質管理         |       |         |   |
| 14       |                                     |                         | 6.作業員の安全管理           | 6.1 安全衛生責任者の専任と業務   |       |         |   |
| 15       |                                     |                         |                      | 6.2 安全ミーティング        |       |         |   |
| 16       |                                     |                         |                      | 6.3 墜落・落下災害の防止      |       |         |   |
| 17       |                                     |                         |                      | 6.4 工事用機械・設備の安全対策   |       |         |   |
| 18       |                                     |                         |                      | 6.5 有資格者による作業       |       |         |   |
| 19       |                                     |                         |                      | 6.6 交通安全の確保         |       |         |   |
| 20       |                                     |                         |                      | 6.7 整理整頓            |       |         |   |
| 21       |                                     |                         | 7.近隣の安全確保・環境配慮       | 7.1 近隣への安全対策        |       |         |   |
| 22       |                                     |                         |                      | 7.2 騒音・振動・粉塵・臭気等の対策 |       |         |   |
| 23       |                                     |                         |                      | 7.3 場内からの汚泥等の持ち出し対策 |       |         |   |
| 24       | 総合施工計画書<br>関連図書<br><br>※第6章を参照ください。 | 8.仮設計画                  | 8.1 総合仮設計画図          | 図面                  | ●     |         |   |
| 25       |                                     |                         | 8.2 足場計画図            |                     | ●     |         |   |
| 26       |                                     | 9.プレカット図                | 凡例図                  |                     | ●     |         |   |
|          |                                     |                         | 仕様書                  |                     | ●     |         |   |
|          |                                     |                         | 1階床伏図                |                     | ●     |         |   |
|          |                                     |                         | 2階床、1階小屋伏図           |                     | ●     |         |   |
|          |                                     |                         | 1階母屋伏図               |                     | ●     |         |   |
|          |                                     |                         | 小屋伏図                 |                     | ●     |         |   |
|          |                                     |                         | 2階母屋伏図               |                     | ●     |         |   |
|          |                                     |                         | 1階・2階耐力壁、柱頭柱脚金物図     |                     | ●     |         |   |
|          |                                     |                         | 2階床面材配置図             |                     | ●     |         |   |
|          |                                     |                         | 下屋面材配置図              |                     | ●     |         |   |
|          |                                     |                         | 大屋面材配置図              |                     | ●     |         |   |
|          |                                     |                         | 1階・2階窓台伏図            |                     | ●     |         |   |
| 断面図(軸組図) |                                     | ●                       |                      |                     |       |         |   |
| 27       |                                     | 10.木構造工事見積書             | 構造材、羽柄材、金物の種類・規格別の計上 | 書類                  | ●     |         |   |
| 28       |                                     | 11.施工図                  | 基礎伏図                 | 図面                  | ●     |         |   |
|          |                                     |                         | アンカーボルト伏図            |                     | ●     |         |   |
|          |                                     |                         | 基礎詳細図                |                     | ●     |         |   |

表 4-2 重点施工管理図書の様式の一覧（施工計画）

| No. | 工事段階   | 重点施工管理図書の名称                       | 本手引きで取り扱っている項目     |                     | 図書の区分             | 添付図書の有無                |      |   |
|-----|--------|-----------------------------------|--------------------|---------------------|-------------------|------------------------|------|---|
| 29  | Ⅱ.施工計画 | 木工事(構造)施工計画書                      | 1.総則               | 1.1 適用範囲            | 管理基準              |                        |      |   |
| 30  |        |                                   |                    | 1.2 適用図書            |                   |                        |      |   |
| 31  |        |                                   |                    | 1.3 疑義、変更           |                   |                        |      |   |
| 32  |        |                                   |                    | 1.4 その他             |                   |                        |      |   |
| 33  |        | ※第5章を参照ください。<br>※添付図書は第6章を参照ください。 | 2.工事概要             |                     | リスト               |                        |      |   |
| 34  |        |                                   | 3.工程表              |                     | 図                 | No.6と兼用                |      |   |
| 35  |        |                                   | 4.施工管理体制           |                     |                   |                        |      |   |
| 36  |        |                                   | 5.材料調達             | 数量調書                | 書類                | No.27と兼用               |      |   |
| 37  |        |                                   |                    | 材料の合法性確認書類          |                   |                        | ●    |   |
| 38  |        |                                   | 6.施工要領             | 6.1 施工フロー           | 図                 | ●                      |      |   |
| 39  |        |                                   |                    | 6.2 構造材の施工数量        | リスト               |                        |      |   |
| 40  |        |                                   |                    | 6.3 木材の品質管理         |                   | 6.3.1 使用する木質材料         |      |   |
| 41  |        |                                   |                    |                     |                   | 6.3.2 木質材料の品質管理方法      |      |   |
| 42  |        |                                   |                    | 6.4 木材の加工           |                   | 6.4.1 木材加工の品質・仕様       |      |   |
| 43  |        |                                   |                    |                     |                   | 6.4.2 木材加工の品質管理方法      |      |   |
| 44  |        |                                   |                    | 6.5 接合金物等           |                   | 6.5.1 使用する主な接合具・接合金物   |      |   |
| 45  |        |                                   |                    |                     |                   | 6.5.2 接合金物等の品質管理方法     |      |   |
| 46  |        |                                   |                    | 6.6 アンカーボルトの施工      |                   | 6.6.1 アンカーボルトの施工精度の基準  |      |   |
| 47  |        |                                   |                    |                     |                   | 6.6.2 アンカーボルト施工の品質管理方法 |      |   |
| 48  |        |                                   |                    | 6.7 建て方の施工計画        |                   | 6.7.1 建て方フロー           | 図    |   |
| 49  |        |                                   |                    |                     |                   | 6.7.2 建て方計画図           | 図面   | ● |
| 50  |        |                                   |                    |                     |                   | 6.7.3 搬入計画             | 管理基準 |   |
| 51  |        |                                   |                    |                     |                   | 6.7.4 使用重機             | リスト  |   |
| 52  |        |                                   |                    |                     | 6.7.5 建て方         |                        |      |   |
| 53  |        |                                   |                    |                     | 6.7.6 建て入れ測定      | 管理基準                   |      |   |
| 54  |        |                                   |                    |                     | 6.7.7 社内検査        |                        |      |   |
| 55  |        |                                   |                    | 6.7.8 安全作業基準        |                   |                        |      |   |
| 56  |        |                                   |                    |                     | 6.7.9 養生計画        |                        |      |   |
| 57  |        |                                   |                    | 6.8 建て方の施工精度        | 6.8.1 建て方の精度基準    | リスト                    |      |   |
| 58  |        |                                   |                    |                     | 6.8.2 建て方の品質管理方法  |                        |      |   |
| 59  |        |                                   |                    | 6.9 接合部             | 6.9.1 接合部の施工管理の内容 |                        |      |   |
| 60  |        |                                   |                    |                     | 6.9.2 接合部の品質管理方法  |                        |      |   |
| 61  |        |                                   |                    | 6.10 耐力壁            | 6.10.1 耐力壁の仕様     |                        |      |   |
| 62  |        |                                   | 6.10.2 耐力壁の施工管理の内容 |                     |                   |                        |      |   |
| 63  |        |                                   | 6.10.3 耐力壁の品質管理方法  |                     |                   |                        |      |   |
| 64  |        |                                   | 6.11 水平構面          | 6.11.1 水平構面の仕様      |                   |                        |      |   |
| 65  |        |                                   |                    | 6.11.2 水平構面の施工管理の内容 |                   |                        |      |   |
| 66  |        |                                   |                    | 6.11.3 水平構面の品質管理方法  |                   |                        |      |   |
| 67  |        |                                   | 6.12 防腐・防蟻         | 6.12.1 防腐・防蟻の仕様     | 管理基準              |                        |      |   |
| 68  |        |                                   |                    | 6.12.2 防腐・防蟻の品質管理方法 |                   |                        |      |   |
| 69  |        |                                   | 7.安全・衛生管理          | 7.1 一般共通事項          | 管理基準              |                        |      |   |
| 70  |        |                                   |                    | 7.2 現場の管理体制         |                   |                        |      |   |
| 71  |        |                                   |                    | 7.3 工事現場の安全・衛生管理    |                   |                        |      |   |
| 72  |        |                                   |                    | 7.4 火災防止            |                   |                        |      |   |
| 73  |        |                                   |                    | 7.5 巡視              |                   |                        |      |   |
| 74  |        |                                   |                    | 7.6 事故発生時の措置        |                   |                        |      |   |

## 第3章

重点施工管理図書の作成例  
に用いた設計モデル

### 第3章 重点施工管理図書の作成例に用いた設計モデル

本手引きでは、（一社）JBN・全国工務店協会（JBN）＋（一社）中大規模木造プレカット技術協会（PWA）が提案した汎用性の高い木造事務所の設計モデル（令和4年度本グループにて検討。以下、JBN+PWA モデルという。）を対象とし、重点施工管理図書の作成例を整備しました。

本章では、JBN+PWA モデルの概要と設計図書（一般図）について紹介します。

#### 3.1 JBN+PWA モデルの概要

##### （１）諸元

JBN+PWA モデルの諸元を表5に示します。

表5 JBN+PWA モデルの諸元

|                |               |                           |             |             |
|----------------|---------------|---------------------------|-------------|-------------|
| 階数             |               | 2階                        |             |             |
| 建築面積(㎡)        |               | 407.42                    |             |             |
| 延べ面積(㎡)        |               | 797.00                    |             |             |
| 階高(mm)         | 1階            | 3,510                     |             |             |
|                | 2階(軒高さ)       | 3,090                     |             |             |
| 天井高(mm)        | 1階            | 2,600                     |             |             |
|                | 2階            | 2,600                     |             |             |
| 防耐火性能          |               | その他の建築物                   |             |             |
| スパン割(m)        |               | 5.46×4.55 及び 一部 5.46×5.46 |             |             |
| 架構形式           | 2階床           | 大・小梁(小梁市松状配置)             |             |             |
|                | 屋根            | 和小屋                       |             |             |
| 主な構造部材         | 土台            | ヒノキ製材                     | 無等級材        | 120×120     |
|                |               | ヒノキ製材                     | 無等級材        | 120×120     |
|                | 柱             | ベイマツ集成材                   | E135—F375   | 120×120     |
|                |               | スギ+ベイマツ異樹種集成材             | E120—F330   | 120×270～390 |
|                | 大梁            | ベイマツ集成材                   | E135—F375   | 120×390     |
|                |               | スギ製材                      | 無等級材        | 120×150～240 |
|                | 小梁            | スギ+ベイマツ異樹種集成材             | E120—F330   | 120×300～390 |
|                |               | スギ製材                      | 無等級材        | 120×150～240 |
| 小屋梁            | スギ+ベイマツ異樹種集成材 | E120—F330                 | 120×270～390 |             |
|                | スギ製材          | 無等級材                      | 120×150～240 |             |
| 構造材における製材の使用比率 |               | 53.27%                    |             |             |
| 構造材使用量         |               | 69.7 m³                   |             |             |
| 構造材による炭素貯蔵量    |               | 44t-CO2                   |             |             |

## (2) 平面計画

- ・4.5×5.4mスパンまたは2.7mスパンを組み合わせ、地方都市の賃貸オフィス需要を考慮した約75㎡の事務室を各階に4室配置。
- ・建物の中心に5.4×5.4mスパンの木質化した温かみのある共用のホールを配置。

## (3) 構造・構法計画

- ・住宅プレカット技術を活用した、在来軸組と汎用金物工法を併用。
- ・規格流通材の寸法内に納まるよう、柱は3m以内、梁桁は6m以内となる階高、スパンを設定。
- ・耐力壁は、壁倍率2.5倍の面材耐力壁を使用。

## (4) 計画のポイント

|                                 |                                                                                                                               |
|---------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①木造らしさを体感できる木質感のあるしつらえ          | <ul style="list-style-type: none"><li>・外壁の木板張りにより、経年変化後も美観を保てるシンプルな外観</li><li>・日本人になじみ深く木の香りが心地よい国産木材の内外装への多用</li></ul>       |
| ②多様な規模・レイアウトの執務スペースに対応できる構造システム | <ul style="list-style-type: none"><li>・住宅プレカット技術を利用した、在来軸組と汎用金物工法の併用</li></ul>                                                |
| ③建設地で調達しやすい地域材・国産材の活用           | <ul style="list-style-type: none"><li>・調達容易性に配慮して極力国産材を活用</li><li>・土台・柱は製材（一部集成材）、梁桁は製材及び集成材を採用</li></ul>                     |
| ④地域工務店等が取り組みやすい材料・加工や施工法        | <ul style="list-style-type: none"><li>・大工が取り組みやすく、取引のあるプレカット工場も対応可能な軸組構法とし、職人確保の容易性に配慮</li></ul>                              |
| ⑤建物工事費及び工期の縮減                   | <ul style="list-style-type: none"><li>・住宅用資材を活用しやすい910mmモジュールの採用による材の分留まり向上</li><li>・小規模建物用エレベーターや内部木製階段を採用し、コストを低減</li></ul> |
| ⑥多様な建物要求性能への対応                  | <ul style="list-style-type: none"><li>・高い外皮断熱性能を確保し、省エネ性や就業環境を向上</li><li>・2階床の遮音性向上のためALC板を用いた床構成</li></ul>                   |
| ⑦その他                            | <ul style="list-style-type: none"><li>・木造躯体の現し、内装木質化などによる執務環境の向上や、CO2削減への配慮等の企業理念のPRによる企業価値向上の効果</li></ul>                    |

## 3.2 JBN+PWA モデルの設計図書

次ページ以降に JBN+PWA モデルの設計図書（意匠図のうち、一般図）を示します。



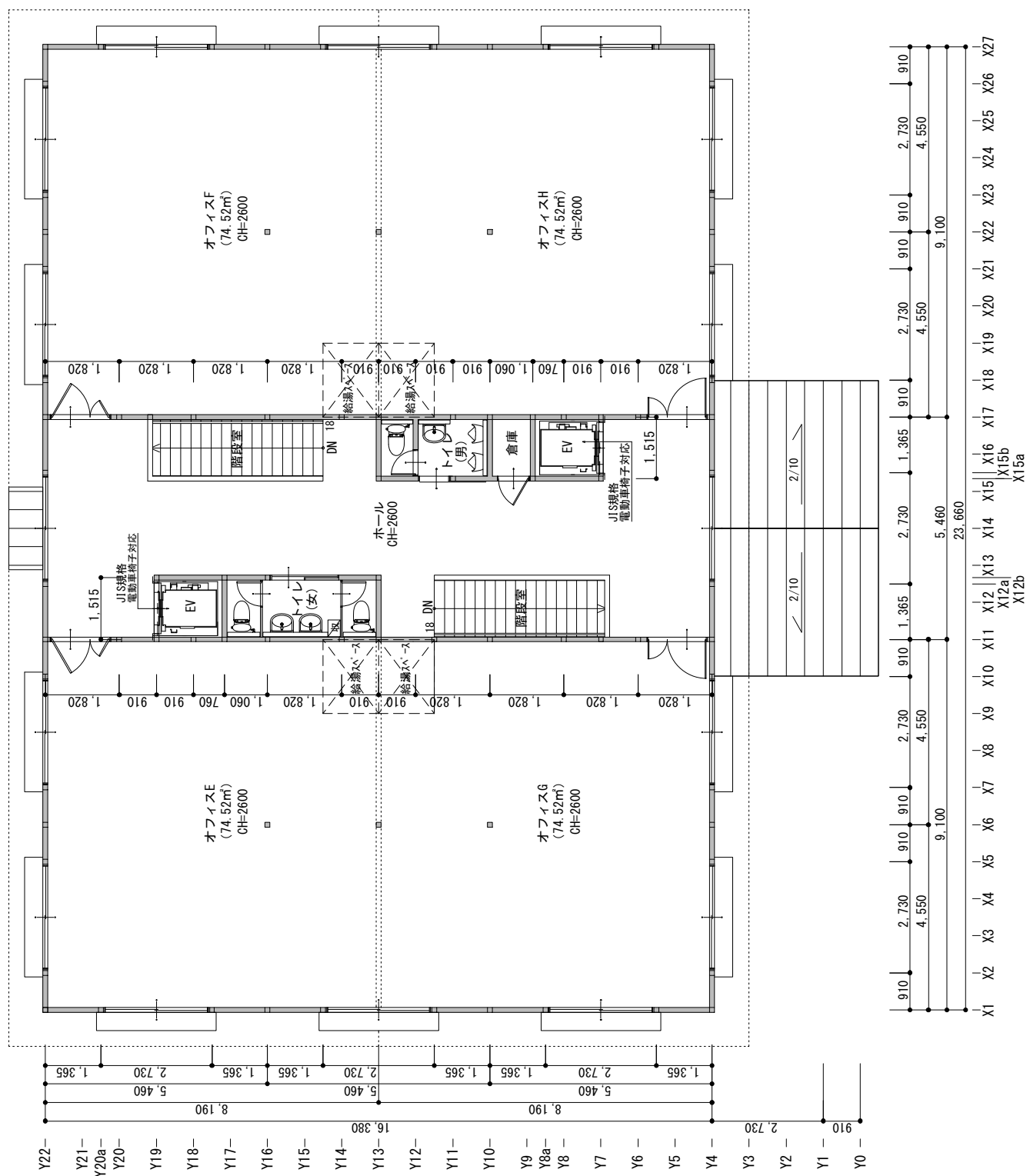
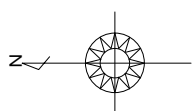
非住宅低層小規模建築物  
木造事務所モデル  
(JBN+PWAモデル)

(一社)JBN・全国工務店協会  
+  
(一社)中大規模木造プレカット技術協会

|      |        |
|------|--------|
| A-00 | 表紙     |
| A-01 | 配置図    |
| A-02 | 1 階平面図 |
| A-03 | 2 階平面図 |
| A-04 | 立面図 1  |
| A-05 | 立面図 2  |
| A-06 | 断面図    |
| A-07 | 矩計図    |
| A-08 | パース    |





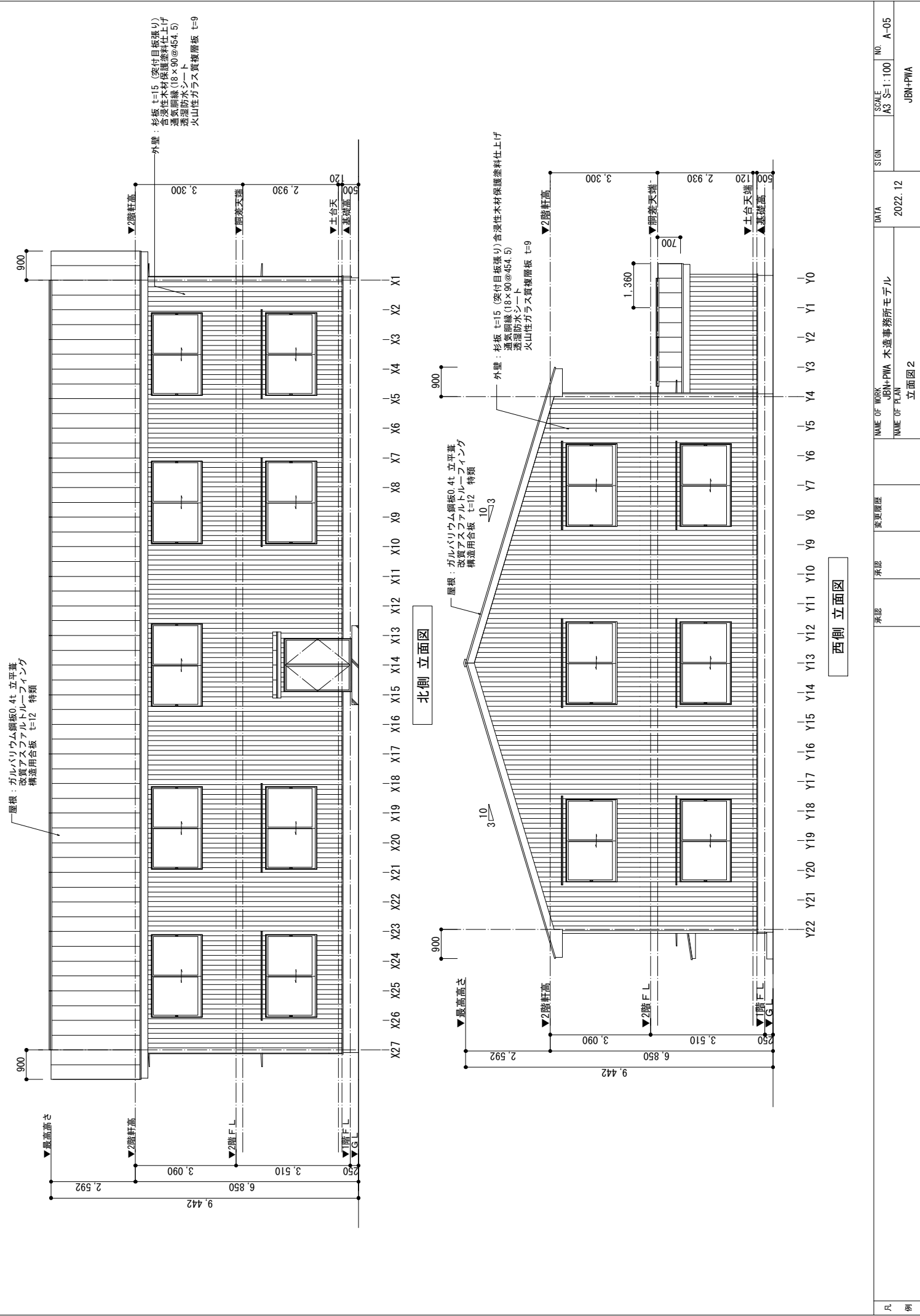


凡例

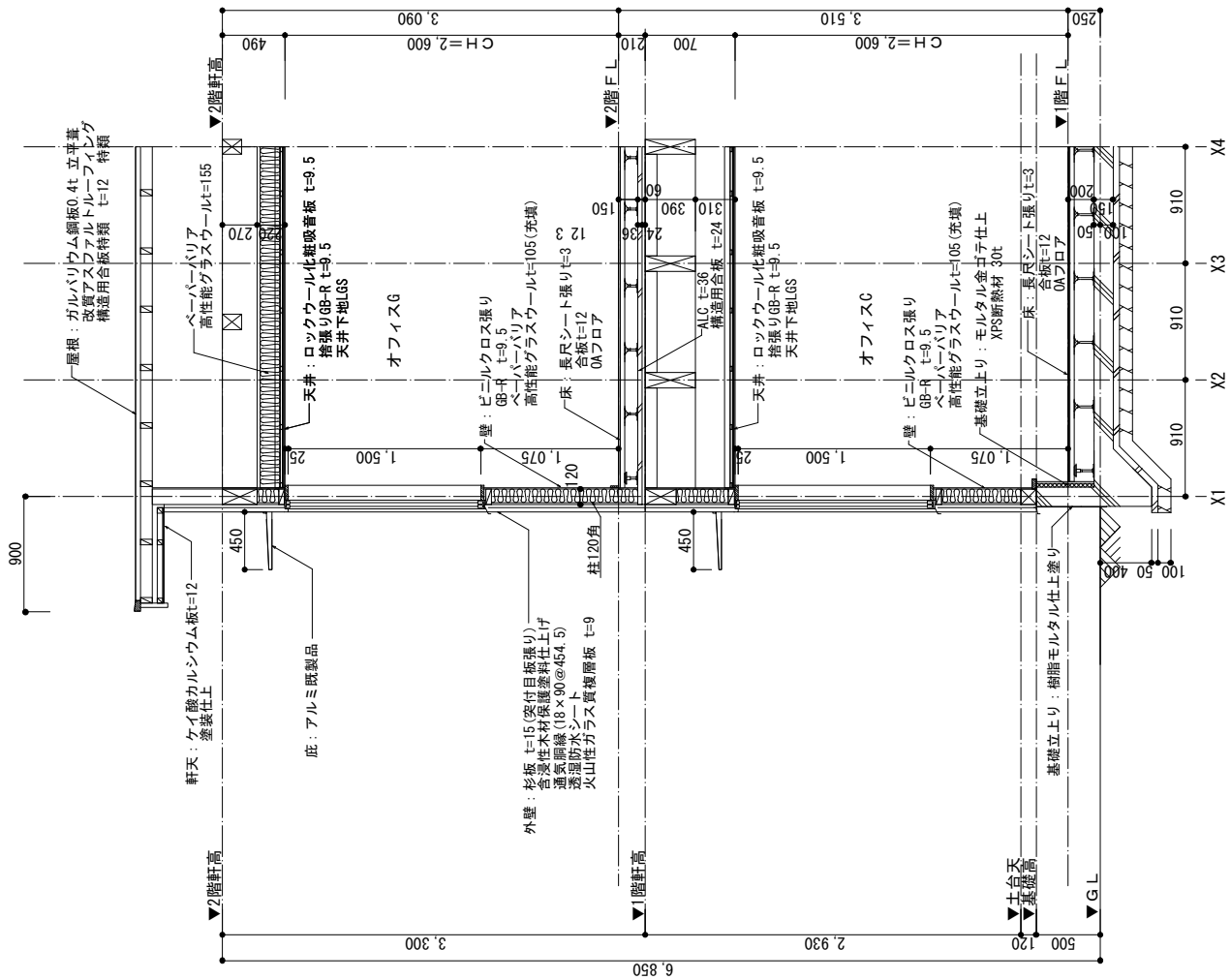
|                                  |    |    |                       |          |
|----------------------------------|----|----|-----------------------|----------|
| 変更履歴                             | 承認 | 承認 | DATA                  | 2022. 12 |
| NAME OF WORK<br>JBN+PWA 木造事務所モデル |    |    | NAME OF PLAN<br>2階平面図 |          |

|         |                     |             |
|---------|---------------------|-------------|
| SIGN    | SCALE<br>A3 S=1:100 | NO.<br>A-03 |
| JBN+PWA |                     |             |









|        |  |    |    |      |  |                                  |                  |                     |                    |             |
|--------|--|----|----|------|--|----------------------------------|------------------|---------------------|--------------------|-------------|
| 凡<br>例 |  | 承認 | 承認 | 変更履歴 |  | NAME OF WORK<br>JBN+PWA 木造事務所モデル | DATA<br>2022. 12 | SIGN                | SCALE<br>A3 S=1:40 | NO.<br>A-07 |
|        |  |    |    |      |  |                                  |                  | JBN+PWA             |                    |             |
|        |  |    |    |      |  |                                  |                  | NAME OF PLAN<br>矩計図 |                    |             |



外観パース



内観パース

|   |    |    |      |                                  |                  |      |       |    |         |
|---|----|----|------|----------------------------------|------------------|------|-------|----|---------|
| 凡 | 承認 | 承認 | 変更履歴 | NAME OF WORK<br>JBN+PWA 木造事務所モデル | DATA<br>2022. 12 | SIGN | SCALE | NO | A-08    |
| 例 |    |    |      | NAME OF PLAN<br>パース              |                  |      |       |    | JBN+PWA |



# 第4章

総合施工計画書

## 第4章 総合施工計画書

本章では、非住宅・木造低層小規模建築物の着工前準備で有用な「総合施工計画書」の作成例を紹介します。

なお、本作成例はあくまで一例を示したものであり、全ての工事に共通で利用できるものではありません。建物規模や工事内容等に応じて、図書や項目の追加・省略・代替等の検討が必要です。

無記入の様式は、(公財)日本住宅・木材技術センターのWEBサイトからダウンロードすることができます。

<https://www.howtec.or.jp/files/libs/5249/202405161136585092.xlsx>



●●●●新築工事

## 総合施工計画書

令和●●年 ●●月

| 承 諾 |  |
|-----|--|
|     |  |
|     |  |

請負者 ●●建設 株式会社

|       |  |
|-------|--|
| 現場代理人 |  |
|       |  |

※本計画書は「JBN＋PWAモデル」を対象とした場合の作成例(青字)を示します。  
※無記入の様式は、(公財)日本住宅・木材技術センターのWEBサイトから  
ダウンロードすることができます。(予定)

## 目 次

### 総合施工計画書

- 1 総則
- 2 工事概要
- 3 工程表
- 4 施工管理体制
- 5 工程管理・品質管理計画
- 6 作業員の安全管理計画
- 7 近隣の安全確保・環境配慮
- 8 仮設計画

### 総合施工計画書関連図書

- 9 プレカット図
- 10 木工事見積書
- 11 施工図

## 1 総則

### 1.1 適用範囲 (No.1)

※本手引きでは解説の便宜上、図書一覧のNo.を付しています。

本施工計画書は●●●●新築工事における現場施工管理方針として適用する。

### 1.2 適用図書 (No.2)

本工事は下記の仕様書及び設計図に基づいて施工する。

その施工に当たっての優先順位は、下記による。

- (1) 質問回答書、現場説明書、現場説明事項及び追加変更指示書
- (2) 本工事の建築設計図書及び特記仕様書
- (3) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修  
公共建築木造工事標準仕様書(令和4年版)
- (4) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修  
公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)

### 1.3 疑義、変更 (No.3)

本施工計画書に記載なき事項や、記載事項の質疑変更に関しては監理者・工事担当者と協議の上で承諾を得て施工する。

### 1.4 その他 (No.4)

本施工計画書に基づく工事内容及び作業の進め方等について、協力会社及び作業員に周知徹底させて施工品質の確保に用いる。

## 2 工事概要 (No.5)

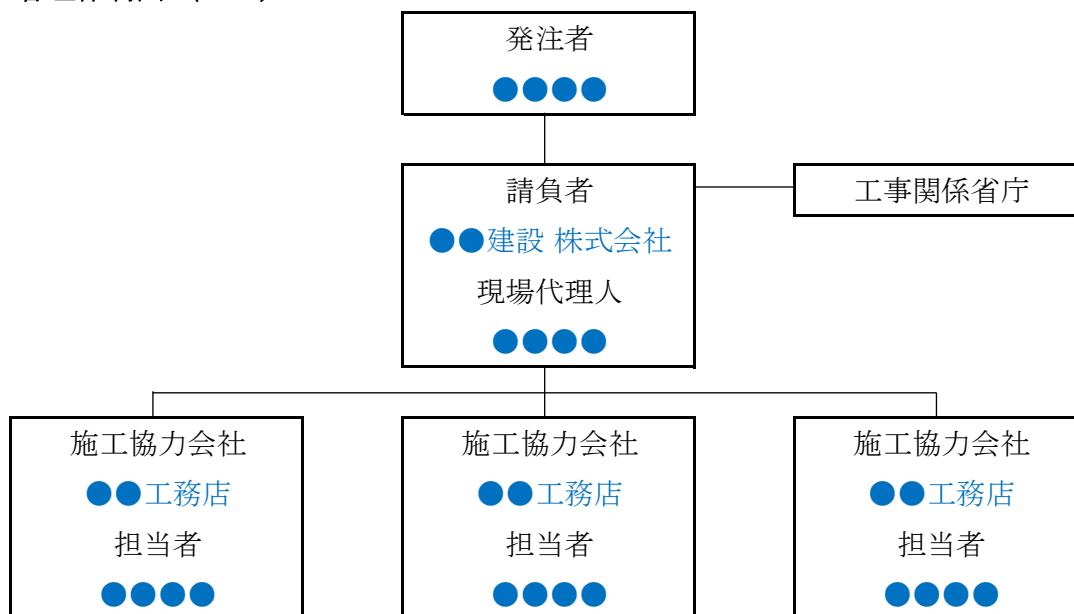
|       |                         |
|-------|-------------------------|
| 工事名称  | ●●●●新築工事                |
| 工事場所  | ●●県●●市●● ●—●—●          |
| 発注者   | ●●●●                    |
| 設計者   | 株式会社 ●●設計事務所            |
| 監理者   | 株式会社 ●●設計事務所            |
| 請負者   | ●●建設 株式会社               |
| 工期    | 令和●●年●●月●●日～令和●●年●●月●●日 |
| 主要用途  | 事務所                     |
| 敷地面積  | 1,456.12㎡               |
| 建築面積  | 407.42㎡                 |
| 延床面積  | 797.00㎡                 |
| 建物規模  | 地上2階                    |
| 建物の構造 | 木造                      |
|       |                         |

## 3 工程表 (No.6)

別紙の工程表による。【第6章 施工計画書添付図書参照】

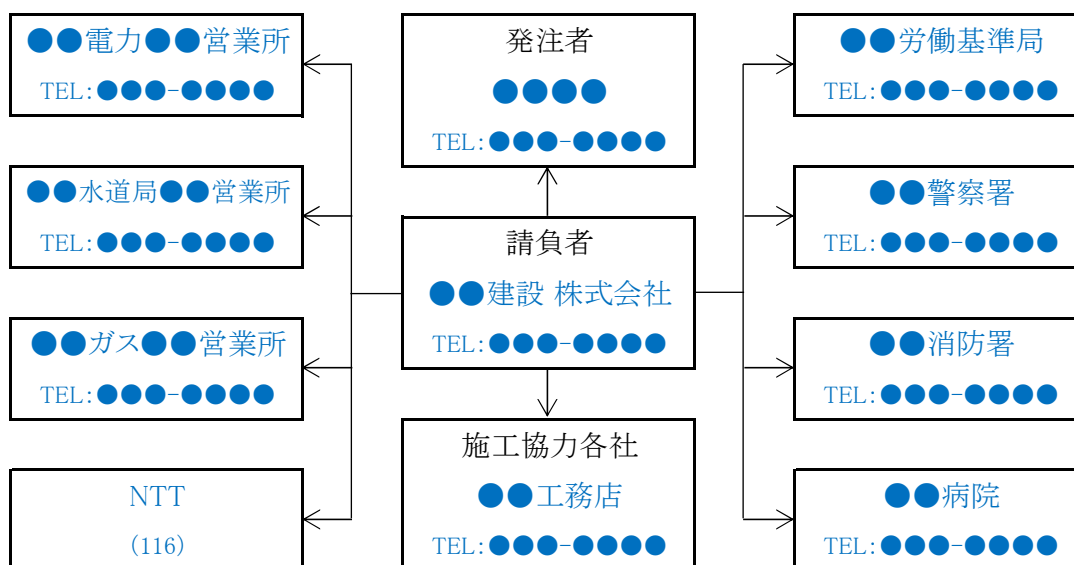
## 4 施工管理体制

### 4.1 管理体制図 (No.7)



### 4.2 非常時連絡体制図 (No.8)

- ・緊急事態が発生した場合は、その状況・原因・当事者・場所・時刻を的確に把握して関係先に速やかに連絡すると共に応急処置をし、各関係部署に連絡を取り適切な指示を受ける。
- ・労災事故が出た場合は、速やかに状況を把握し、関係者に連絡(報告)を行う。



## 5 工程管理・品質管理計画

### 5.1 工程表の作成 (No.9)

- ・別紙の工程表による。
- ・週間工程表については、毎週●曜日に翌2週間分を作成する。
- ・工程表に検査予定日を記入し、これを検査計画とする。

### 5.2 作業時間 (No.10)

- ・作業時間は原則として●:●●から●●:●●とし、作業時間延長は●●:●●までとする。
- ・原則として土曜・日曜・祝祭日は作業を行わない。
- ・作業時間延長時及び現場休日は、振動・騒音等、近隣に影響のある作業は行わない。

### 5.3 工程打合せ (No.11)

- ・工程打合せは随時行い、各工事の関係者及び監理者と打合せを行う。
- ・打合せ内容は以下の通り。
  - ①工事の進捗確認及び各工事取合いの調整
  - ②前回打合せ内容の確認
  - ③翌週または翌月の工事内容、工事日数、実行月の検討
  - ④作業場の意見、注意事項、要望事項等
  - ⑤工事が予定通り進捗しなかった場合の原因究明と対策

### 5.4 施工計画書に基づいた施工管理 (No.12)

- ・必要な工種の施工計画書を作成し、施工計画書に基づいて施工管理を行う。
- ・施工計画書を必要としない工種については、チェックシート等を用いて施工管理を行う。

### 5.5 材料の品質管理 (No.13)

- ・搬入資材は必要に応じ、現場搬入時に仕様・性能等の受入検査を行う。
- ・工事で使用する搬入材料の保管は、種類別に整理する。
- ・外部に置く場合は、直接土に触れないように台木等を敷く。また、雨水に濡れないよう養生シート等で覆い、ロープその他のもので結束する。

## 6 作業員の安全管理計画

### 6.1 安全衛生責任者の選任と業務 (No.14)

- ・安全衛生責任者を選任して、労働基準法、労働安全衛生法、その他関係法令並びに本作業所の安全衛生規定を遵守して、作業の安全と健康管理を行う。
- ・安全衛生責任者には、予見の義務、回避の義務、確認の義務の3つの義務がある。常に安全を先取りし、当日終わる作業であっても改善しなければならないものは、即座に改善する。
- ・作業所内外を問わず、工事の実施に伴う危険防止・騒音防止・振動防止・災害防止・公害防止・風水害対策等のため、関係法規に従って、常に遺漏のないよう注意を払うと共に、養生等適切な措置を施す。

### 6.2 安全ミーティング (No.15)

- ・現場代理人を責任者として、適宜安全ミーティングを実施する。

### 6.3 墜落・落下災害の防止 (No.16)

- ・作業所内では、作業に適する服装とし、保護帽を着用する。
- ・高所及び危険な箇所での作業は、墜落・落下災害を防止するため、必ず安全装具を装着する。
- ・脚立の単独使用は厳禁とし、使用する場合は開き止め、滑り止めを確認の上、足場板3点支持とする。

### 6.4 工事用機械・設備の安全対策 (No.17)

- ・現場内に持ち込む工事用機械・工具は、構造規格・安全装置等の整備が確認されている物を使用する。

### 6.5 有資格者による作業 (No.18)

- ・免許・資格の必要な作業には、有資格者を配置する。

### 6.6 交通安全の確保 (No.19)

- ・通勤車両及び資材搬入車両が交通事故を起こさぬよう、交通規則を順守する。
- ・資材搬入時など、現場車両進入が多くなり危険度が増した時は、誘導員等を配置し、交通安全に努める。
- ・工事関係車両の用地周辺への駐車は禁止とする。

### 6.7 整理整頓 (No.20)

- ・資材・機械工具の置き場・保管場所は指定場所を決めて、整理整頓に努める。
- ・作業所は常に安全通路を確保して、全員の作業行動に支障のないようにする。

## 7 近隣の安全確保・環境配慮

### 7.1 近隣への安全対策 (No.21)

- ・敷地外周部には仮囲い、バリケード等を施し、第三者の侵入を防止する。
- ・必要に応じて交通誘導員を配置し、第三者への交通安全対策を十分に行う。

### 7.2 騒音・振動・粉塵・臭気等の対策 (No.22)

- ・建設機械や工法の選定にあたっては、近隣への騒音・振動・粉塵・臭気等の低減に努める。
- ・騒音等の発生が予想されるときは、近隣住民に対策を示し、理解を求める。

### 7.3 場内からの汚泥等の持ち出し対策 (No.23)

- ・土工事等の施工時は、タイヤに附着する汚泥等を場内で清掃し、道路の汚れを防止する。

## 総合施工計画書関連図書

## 8 仮設計画

### 8.1 総合仮設計画面図 (No.24)

- ・別紙の総合仮設計画面図による。【第6章 施工計画書添付図書参照】

### 8.2 足場計画面図 (No.25)

- ・別紙の足場計画面図による。【第6章 施工計画書添付図書参照】

## 9 プレカット図 (No.26)

- ・別紙のプレカット図による。【第6章 施工計画書添付図書参照】
- ・プレカット事業者の協力の元、木構造部材のプレカットに係る各種の伏図・耐力壁図・面材配置図・断面図(軸組図)等の図書を作成する。

## 10 木構造工事見積書 (No.27)

- ・別紙の木構造工事見積書による。【第6章 施工計画書添付図書参照】
- ・木造建築関連事業者の協力の元、木構造部材に係る見積書を作成する。

## 11 施工図 (No.28)

- ・別紙の施工図による。【第6章 施工計画書添付図書参照】
- ・設計図書に基づき、基礎伏図・アンカーボルト伏図・基礎詳細図等の図書を作成する。

# 第5章

## 木工事（構造）施工計画書

## 第5章 木工事（構造）施工計画書

本章では、非住宅・木造低層小規模建築物の木工事（構造）で有用な「木工事（構造）施工計画書」の作成例を紹介します。

なお、本作成例はあくまで一例を示したものであり、全ての工事に共通で利用できるものではありません。建物規模や工事内容等に応じて、図書や項目の追加・省略・代替等の検討が必要です。

無記入の様式は、（公財）日本住宅・木材技術センターのWEBサイトからダウンロードすることができます。

<https://www.howtec.or.jp/files/libs/5250/202405161137299308.xlsx>



●●●●新築工事

## 木 工 事（ 構 造 ） 施 工 計 画 書

令和●●年 ●●月

| 承 諾 |  |
|-----|--|
|     |  |
|     |  |

請負者 ●●建設 株式会社

|       |  |
|-------|--|
| 現場代理人 |  |
|       |  |

※本計画書は「JBN＋PWAモデル」を対象とした場合の作成例(青字)を示します。  
※無記入の様式は、(公財)日本住宅・木材技術センターのWEBサイトから  
ダウンロードすることができます。(予定)

## 目 次

### 1 総則

- 1.1 適用範囲
- 1.2 適用図書
- 1.3 疑義、変更
- 1.4 その他

### 2 工事概要

### 3 工程表

### 4 施工管理体制

### 5. 材料調達

- 5.1 数量調書
- 5.2 材料の合法性確認書類

### 6 施工要領

- 6.1 施工フロー
- 6.2 構造材の施工数量
- 6.3 木材の品質管理
- 6.4 木材の加工
- 6.5 接合金物等
- 6.6 アンカーボルトの施工
- 6.7 建て方の施工計画
- 6.8 建て方の施工精度
- 6.9 接合部
- 6.10 耐力壁
- 6.11 水平構面
- 6.12 防腐・防蟻

### 7 安全・衛生管理

## 1 総則

### 1.1 適用範囲 (No.29)

※本手引きでは解説の便宜上、図書一覧のNo.を付しています。

本施工計画書は●●●●新築工事における  
木工事(構造)の現場施工管理方針として適用する。

### 1.2 適用図書 (No.30)

本工事は下記の仕様書及び設計図に基づいて施工する。

その施工に当たっての優先順位は、下記による。

- (1) 質疑回答書、現場説明書、追加変更指示書
- (2) 本工事の建築設計図書及び特記仕様書
- (3) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修  
公共建築木造工事標準仕様書(令和4年版)
- (4) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修  
公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)
- (5) (一社)中大規模木造プレカット技術協会  
木質工事特記仕様書、木造軸組接合部標準図(令和4年版)

### 1.3 疑義、変更 (No.31)

本施工計画書に記載なき事項や、記載事項の質疑変更に関しては監理者・  
工事担当者と協議の上で承諾を得て施工する。

### 1.4 その他 (No.32)

本施工計画書に基づく工事内容及び作業の進め方等について、  
協力会社及び作業員に周知徹底させて施工品質の確保に用いる。

## 2 工事概要 (No.33)

|       |                         |
|-------|-------------------------|
| 工事名称  | ●●●●新築工事                |
| 工事場所  | ●●県●●市●● ●—●—●          |
| 発注者   | ●●●●                    |
| 設計者   | 株式会社 ●●設計事務所            |
| 監理者   | 株式会社 ●●設計事務所            |
| 請負者   | ●●建設 株式会社               |
| 工期    | 令和●●年●●月●●日～令和●●年●●月●●日 |
| 主要用途  | 事務所                     |
| 敷地面積  | 1,456.12㎡               |
| 建築面積  | 407.42㎡                 |
| 延床面積  | 797.00㎡                 |
| 建物規模  | 地上2階                    |
| 建物の構造 | 木造                      |
|       |                         |

## 3 工程表 (No.34)

- ・本計画は小規模かつ汎用的な木構造工事であるため、総合施工計画書の工程表(No.6)と兼用する。
- ・別紙の工程表による。【第6章 施工計画書添付図書参照】

#### 4 施工管理体制 (No.35)

##### 【元請施工会社】

|       |                |
|-------|----------------|
| 会社名   | ●●建設 株式会社      |
| 住所    | ●●県●●市●● ●—●—● |
| TEL   | ●●●—●●●—●●●●   |
| 代表者   | ●● ●●          |
| 現場代理人 | ●● ●●          |
| 監理技術者 | ●● ●●          |
| 工事担当者 | ●● ●●          |

##### 【木工事(構造)】

|         |                |
|---------|----------------|
| 会社名     | ●●●●           |
| 住所      | ●●県●●市●● ●—●—● |
| TEL     | ●●●—●●●—●●●●   |
| 代表者     | ●● ●●          |
| 安全衛生責任者 | ●● ●●          |
| 作業責任者   | ●● ●●          |

##### 【プレカット・木材業者】

|         |                |
|---------|----------------|
| 会社名     | ●●●●           |
| 住所      | ●●県●●市●● ●—●—● |
| TEL     | ●●●—●●●—●●●●   |
| 代表者     | ●● ●●          |
| 品質管理責任者 | ●● ●●          |

## 5. 材料調達

### 5.1 数量調書 (No.36)

- ・見積項目として木材、金物の数量を計上している木構造工事見積書(No.27)と兼用する。
- ・別紙の木構造工事見積書による。【第6章 施工計画書添付図書参照】

### 5.2 材料の合法性確認書類 (No.37)

- ・木材等を譲り受ける際に提供された書類等により木材等の合法性の確認をする。
- ・別紙の材料の合法性確認書類(出荷証明書)による。【第6章 施工計画書添付図書参照】

## 6. 施工要領

### 6.1 施工フロー (No.38)

- ・着工前準備、施工計画、材料調達、施工の段階ごとに実施する作業内容とその流れを整理する。
- ・別紙の施工フローによる。【第6章 施工計画書添付図書参照】

### 6.2 構造材の施工数量(木材の数量把握が必要な場合のみ) (No.39)

| 木材の区分 | 材積(m <sup>3</sup> ) |
|-------|---------------------|
| ■ 製材  | 37.04               |
| ■ 集成材 | 32.58               |
| □ その他 | 0.00                |
| 計     | 69.62               |
| 特記    | 建て方に使用する材の材積を示す     |

## 6.3 木材の品質管理

### 6.3.1 使用する木質材料 (No.40)

□JAS構造用製材

| 部位 | 樹種          | 区分           |                   | 含水率       | 保存処理                    | 材面の美観            | 備考                       |
|----|-------------|--------------|-------------------|-----------|-------------------------|------------------|--------------------------|
|    |             | 目視等級区分       | 機械等級区分            |           |                         |                  |                          |
| 柱  | □スギ<br>□ヒノキ | □乙種          | □1級<br>□2級<br>□3級 | □E70<br>□ | □SD15<br>□SD20<br>□SD25 | □K3<br>□他<br>□なし | □無節<br>□上小節<br>□小節<br>□並 |
| 梁  | □スギ<br>□ヒノキ | □甲種Ⅰ<br>□甲種Ⅱ | □1級<br>□2級<br>□3級 | □E70<br>□ | □SD15<br>□SD20<br>□SD25 | □K3<br>□他<br>□なし | □無節<br>□上小節<br>□小節<br>□並 |
| 土台 | □ヒノキ<br>□   |              |                   |           |                         |                  |                          |

□地域認証材

| 〇〇県産材認証制度 |                              |                               |                              |                                                                                          |    |
|-----------|------------------------------|-------------------------------|------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 部位        | 樹種                           | 含水率                           | ヤング係数                        | 材面の美観                                                                                    | 備考 |
| 柱         | <input type="checkbox"/> スギ  | <input type="checkbox"/> SD20 | <input type="checkbox"/> E70 | <input type="checkbox"/> 無節 <input type="checkbox"/> 上小節                                 |    |
|           | <input type="checkbox"/> ヒノキ | <input type="checkbox"/> SD25 | <input type="checkbox"/>     | <input type="checkbox"/> 小節 <input type="checkbox"/> 特等(特1等) <input type="checkbox"/> 1等 |    |
| 梁         | <input type="checkbox"/> スギ  | <input type="checkbox"/> SD20 | <input type="checkbox"/> E70 | <input type="checkbox"/> 無節 <input type="checkbox"/> 上小節                                 |    |
|           | <input type="checkbox"/>     | <input type="checkbox"/> SD25 | <input type="checkbox"/>     | <input type="checkbox"/> 小節 <input type="checkbox"/> 特等(特1等) <input type="checkbox"/> 1等 |    |
| 土台        | <input type="checkbox"/> ヒノキ | <input type="checkbox"/> SD20 |                              | <input type="checkbox"/> 無節 <input type="checkbox"/> 上小節                                 |    |
|           | <input type="checkbox"/>     | <input type="checkbox"/> SD25 |                              | <input type="checkbox"/> 小節 <input type="checkbox"/> 特等(特1等) <input type="checkbox"/> 1等 |    |

■無等級材

| 部位          | 樹種                   | 含水率            | ヤング係数            | 材面の美観                        | 備考 |
|-------------|----------------------|----------------|------------------|------------------------------|----|
| 柱・束         | □スギ<br>■ヒノキ          | ■SD20<br>□SD25 | □E70相当<br>□      | □無節 □上小節<br>□小節 ■特等(特1等) □1等 |    |
| 梁・母屋<br>・棟木 | ■スギ<br>□ヒノキ<br>□ベイマツ | ■SD20<br>□SD25 | ■E70相当<br>□E90相当 | □無節 □上小節<br>□小節 ■特等(特1等) □1等 |    |
| 土台          | ■ヒノキ<br>□            | ■SD20<br>□SD25 |                  | □無節 □上小節<br>□小節 ■特等(特1等) □1等 |    |

# ■構造用集成材

| 部位 | 樹種                                                                                                                                                                                  | 品名                                                                                                                                                                                                                                        | 強度等級      | 材面の品質                                                                                                | 接着性能<br>(使用環境)                                                                                    | ホルムアル<br>デヒド放散量                                                       | 備考 |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|----|
| 柱  | <input type="checkbox"/> スギ<br><input checked="" type="checkbox"/> ベイマツ<br><input type="checkbox"/> スプルース<br><input type="checkbox"/> オウシュウアカマツ<br><input type="checkbox"/> スギ+ベイマツ | <input checked="" type="checkbox"/> 同一等級構成集成材<br><input type="checkbox"/> 異等級構成集成材<br><input type="checkbox"/> 対称異等級<br><input type="checkbox"/> 特定対称異等級<br><input type="checkbox"/> 非対称異等級<br><input type="checkbox"/> 異樹種集成材            | E135-F375 | <input type="checkbox"/> 1種<br><input checked="" type="checkbox"/> 2種<br><input type="checkbox"/> 3種 | <input type="checkbox"/> A<br><input type="checkbox"/> B<br><input checked="" type="checkbox"/> C | <input checked="" type="checkbox"/> F☆☆☆☆<br><input type="checkbox"/> |    |
| 梁  | <input type="checkbox"/> スギ<br><input checked="" type="checkbox"/> ベイマツ<br><input type="checkbox"/> スプルース<br><input type="checkbox"/> オウシュウアカマツ<br><input type="checkbox"/> スギ+ベイマツ | <input type="checkbox"/> 同一等級構成集成材<br><input checked="" type="checkbox"/> 異等級構成集成材<br><input checked="" type="checkbox"/> 対称異等級<br><input type="checkbox"/> 特定対称異等級<br><input type="checkbox"/> 非対称異等級<br><input type="checkbox"/> 異樹種集成材 | E135-F375 | <input type="checkbox"/> 1種<br><input checked="" type="checkbox"/> 2種<br><input type="checkbox"/> 3種 | <input type="checkbox"/> A<br><input type="checkbox"/> B<br><input checked="" type="checkbox"/> C | <input checked="" type="checkbox"/> F☆☆☆☆<br><input type="checkbox"/> |    |
|    | <input type="checkbox"/> スギ<br><input type="checkbox"/> ベイマツ<br><input type="checkbox"/> スプルース<br><input type="checkbox"/> オウシュウアカマツ<br><input checked="" type="checkbox"/> スギ+ベイマツ | <input type="checkbox"/> 同一等級構成集成材<br><input type="checkbox"/> 異等級構成集成材<br><input type="checkbox"/> 対称異等級<br><input type="checkbox"/> 特定対称異等級<br><input type="checkbox"/> 非対称異等級<br><input checked="" type="checkbox"/> 異樹種集成材            | E120-F330 | <input type="checkbox"/> 1種<br><input checked="" type="checkbox"/> 2種<br><input type="checkbox"/> 3種 | <input type="checkbox"/> A<br><input type="checkbox"/> B<br><input checked="" type="checkbox"/> C | <input checked="" type="checkbox"/> F☆☆☆☆<br><input type="checkbox"/> |    |

## □構造用単板積層材 (LVL)

| 部位                                                                                   | 樹種                                                                                           | 品名                                                                                 | 曲げ性能 | 水平せん断性能 | 接着性能<br>(使用環境)                                                                         | ホルムアル<br>デヒド放散量                                            | 備考 |
|--------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|------|---------|----------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|----|
| <input type="checkbox"/> 柱<br><input type="checkbox"/> 梁<br><input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> スギ<br><input type="checkbox"/> ヒノキ<br><input type="checkbox"/> カラマツ | <input type="checkbox"/> A種構造用<br>単板積層材<br><input type="checkbox"/> B種構造用<br>単板積層材 |      |         | <input type="checkbox"/> A<br><input type="checkbox"/> B<br><input type="checkbox"/> C | <input type="checkbox"/> F☆☆☆☆<br><input type="checkbox"/> |    |

## □直交集成板 (CLT)

| 部位                                                                                   | 樹種                          | 規格 | 厚さ | 接着剤                                                        | 接着性能<br>(使用環境)                                                                         | ホルムアル<br>デヒド放散量                                            | 備考 |
|--------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|----|----|------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|----|
| <input type="checkbox"/> 壁<br><input type="checkbox"/> 床<br><input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> スギ |    |    | <input type="checkbox"/> イソ<br><input type="checkbox"/> レゾ | <input type="checkbox"/> A<br><input type="checkbox"/> B<br><input type="checkbox"/> C | <input type="checkbox"/> F☆☆☆☆<br><input type="checkbox"/> |    |

■構造用面材

■構造用合板

| 部位               | 樹種                                                       | 等級(板面の品質)                                                    | 接着の程度                                                   | 厚さ                                                             | ホルムアルデヒド放散量                                                | 備考 |
|------------------|----------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|----|
| 耐力壁              | <input type="checkbox"/> 針葉樹<br><input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 2級(C-D)<br><input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 特類<br><input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 9mm<br><input type="checkbox"/> 12mm  | <input type="checkbox"/> F☆☆☆☆<br><input type="checkbox"/> |    |
| 2階以上の床<br>(水平構面) | ■針葉樹<br><input type="checkbox"/>                         | ■2級(C-D)<br><input type="checkbox"/>                         | ■特類<br><input type="checkbox"/>                         | ■12mm<br>■24mm<br><input type="checkbox"/> 28mm                | ■F☆☆☆☆<br><input type="checkbox"/>                         |    |
| 屋根<br>(水平構面)     | ■針葉樹<br><input type="checkbox"/>                         | ■2級(C-D)<br><input type="checkbox"/>                         | ■特類<br><input type="checkbox"/>                         | ■12mm<br><input type="checkbox"/> 24mm                         | ■F☆☆☆☆<br><input type="checkbox"/>                         |    |
| 小屋<br>(水平構面)     | <input type="checkbox"/> 針葉樹<br><input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 2級(C-D)                             | <input type="checkbox"/> 特類<br><input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 12mm<br><input type="checkbox"/> 24mm | <input type="checkbox"/> F☆☆☆☆<br><input type="checkbox"/> |    |

■合板以外の面材

| 部位               | 種別                                                                                                                               | 厚さ                                                                                        | サイズ                                                  | 規格(JIS) | 認定番号                                   | メーカー                     |
|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|---------|----------------------------------------|--------------------------|
| 耐力壁              | <input type="checkbox"/> OSB<br>■繊維板(MDF)<br><input type="checkbox"/> パーティクルボード<br><input type="checkbox"/> 不燃化粧板<br>■火山性ガラス質複層板 | ■9mm<br><input type="checkbox"/> 12mm<br><input type="checkbox"/>                         | ■908×3030<br><br>■910×3030                           |         | 昭和56年建設省告示第1100号<br><br>平成9年建設省富住指発第9号 | 双日建材(モイス)<br>大建工業(ダイライト) |
| 2階以上の床<br>(水平構面) | <input type="checkbox"/> OSB                                                                                                     | <input type="checkbox"/> 9mm<br><input type="checkbox"/> 12mm<br><input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/> |         |                                        |                          |
| 屋根<br>(水平構面)     | <input type="checkbox"/> OSB                                                                                                     | <input type="checkbox"/> 9mm<br><input type="checkbox"/> 12mm<br><input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/> |         |                                        |                          |
| 小屋<br>(水平構面)     | <input type="checkbox"/> OSB                                                                                                     | <input type="checkbox"/> 9mm<br><input type="checkbox"/> 12mm<br><input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/> |         |                                        |                          |

### 6.3.2 木質材料の品質管理方法 (No.41)

□JAS構造用製材・JASに準じた規格のある地域認証材・構造用集成材等

|      |                                                                |
|------|----------------------------------------------------------------|
| 検査時期 | □製品検査時 □現場受入時                                                  |
| 検査内容 | ・指定された品質の製材である事をJASラベル又はJAS印字等で確認<br>・耐力上欠点となる節、腐れ、割れ等がないことを確認 |
| 検査報告 | □工事写真 □出荷証明書                                                   |
| 検査立合 | □元請業者 □監理者 □監督職員                                               |

■無等級材・JASに準じた規格のない地域認証材(公共建築木造工事標準仕様書5.2.2)

|      |                                     |                                                                                |
|------|-------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 検査時期 | 加工前                                 |                                                                                |
| 検査内容 | 材面の欠点                               | 測定数: ■全数 □抜き取り(○○%)<br>方法 : 目視による材の欠点等の確認                                      |
|      | 含水率                                 | 測定数: ■全数 □抜き取り(○○%)<br>方法 : 高周波水分計、6か所の平均値                                     |
|      | 無等級材の基準強度を満たしていることの確認(縦振動ヤング係数等の測定) | 測定の有無: ■有 □無<br>測定の対象部材: [柱(すぎ)]<br>測定方法: ■縦振動法 □その他[ ]<br>測定数: □全数 ■抜き取り(10%) |
| 検査報告 | ■工事写真 ■出荷証明書 ■材料検査報告書               |                                                                                |
| 検査立合 | ■元請業者 □監理者 □監督職員                    |                                                                                |

■構造用合板

|      |                                                                           |
|------|---------------------------------------------------------------------------|
| 検査時期 | 現場受入時                                                                     |
| 検査内容 | ・指定された品質の構造用合板であることをJASラベル又はJAS印字で確認<br>・著しい反り、ねじれ等、耐力に影響する変形が生じていないことを確認 |
| 検査報告 | ■工事写真 ■出荷証明書 □                                                            |

## 6.4 木材の加工

### 6.4.1 木材加工の品質・仕様 (No.42)

#### ■製材の寸法許容差((一社)中大規模木造プレカット技術協会仕様)

| 区分        |        | 表示寸法と測定寸法の差               |
|-----------|--------|---------------------------|
| 木口の短辺及び長辺 | 75mm未満 | +1.0mm -0mm (SD15は-0.5mm) |
|           | 75mm以上 | +1.5mm -0mm (SD15は-0.5mm) |
| 材長        |        | ±1.0mm                    |

#### ■構造用集成材の寸法許容差((一社)中大規模木造プレカット技術協会仕様)

| 区分     |           |         | 表示寸法と測定寸法の差                          |
|--------|-----------|---------|--------------------------------------|
| 短辺     | 大断面       |         | ±1.5mm                               |
|        | 中断面及び小断面  |         | +1.5mm　－0.5mm                        |
| 長辺     | 大断面       | 800mm未満 | ±1.5%　ただし±2.0mmを超えないこと               |
|        |           | 800mm以上 | ±1.5%　ただし±3.0mmを超えないこと               |
|        | 中断面及び小断面  | 300mm以下 | +1.5mm　－0.5mm                        |
|        |           | 300mm超  | ±0.5%　ただし+5.0mm　－3.0mmを超えないこと        |
| はりの曲がり |           |         | $e \leq L/1000$ $e \leq 10\text{mm}$ |
| 材長     | 継手仕口・金物工法 |         | ±1.0mm                               |
|        | ボルト接合方法   |         | 材長の±0.04%                            |

#### ■孔あけ等の加工精度の基準(公共建築木造工事標準仕様書5.4.3(ボルト(引張)除く))

| 孔あけ加工                    |     | 精度                                                       |
|--------------------------|-----|----------------------------------------------------------|
| ボルト                      | せん断 | ボルトの径16mm未満:ボルト径+1.0mm                                   |
|                          |     | ボルトの径16mm以上:ボルト径+2.0mm                                   |
|                          | 引張  | ボルトの径20mm未満:ボルト径+3.0mm                                   |
|                          |     | ボルトの径20mm以上:ボルト径+5.0mm                                   |
| ラグスクリュー(コーチスクリュー・コーチボルト) |     | 胴部:胴部径と同径、長さは胴部長さまで<br>スクリュー部:スクリュー径の50~70%、長さはスクリュー部の長さ |
| ドリフトピン・木栓                |     | ドリフトピン・木栓と同径                                             |

#### ■表面仕上げの仕様(公共建築木造工事標準仕様書5.4.4)

| 加工方法      | 仕上げの程度                                             |
|-----------|----------------------------------------------------|
| 機械加工(製材)  | <input type="checkbox"/> A種:超自動機械かな掛け仕上げ           |
|           | <input checked="" type="checkbox"/> B種:自動機械かな掛け仕上げ |
|           | <input type="checkbox"/> C種:サンダー掛け仕上げ              |
| 機械加工(集成材) | <input type="checkbox"/> A種:サンダー掛け仕上げ              |
|           | <input checked="" type="checkbox"/> B種:自動機械かな掛け仕上げ |

■ 木材保護塗装

| 項目                  | 内容           |
|---------------------|--------------|
| 塗装箇所                | 見え掛かりとなる構造材  |
| 使用する塗料の<br>メーカー・製品名 | ●●塗料<br>●●●● |

☐ 不燃処理木材等

不燃材料、準不燃材料又は難燃材料を使用する場合は、特記による。

#### 6.4.2 木材加工の品質管理方法 (No.43)

|      |                                                                   |
|------|-------------------------------------------------------------------|
| 検査時期 | 加工後                                                               |
| 検査内容 | 部材寸法、孔あけ加工寸法、表面仕上げ、塗装等の確認                                         |
| 検査報告 | ■ 工事写真 <input type="checkbox"/> 出荷証明書                             |
| 検査立合 | ■ 元請業者 <input type="checkbox"/> 監理者 <input type="checkbox"/> 監督職員 |

## 6.5 接合金物等

### 6.5.1 使用する主な接合具・接合金物 (No.44)

#### ■釘

| 種類   | 規格               | 備考 |
|------|------------------|----|
| ■N釘  | ■N50 ■N75 ■N90 □ |    |
| □CN釘 | □CN50 □          |    |
|      |                  |    |

#### □木質構造用ビス

| メーカー名 | 製品名 | 備考 |
|-------|-----|----|
|       |     |    |

#### ■ボルト・ナット・座金

| 種類       | 材質      | 径(mm) | 仕様    | 備考 |
|----------|---------|-------|-------|----|
| ■六角ボルト   | ■鉄(めっき) | ■M12  | ■Zマーク |    |
|          | □ステンレス  | ■M16  | □     |    |
| ■アンカーボルト | ■鉄(めっき) | ■M12  | ■Zマーク |    |
|          | □ステンレス  | ■M16  | □     |    |
| ■座金      | ■鉄(めっき) | ■M12用 | ■Zマーク |    |
|          | □ステンレス  | ■M16用 | □     |    |

#### □ドリフトピン・ラグスクリュー(コーチスクリュー・コーチボルト)・木栓

| 種類       | 材質  | 径(mm) | 仕様 | 備考 |
|----------|-----|-------|----|----|
| □ドリフトピン  | □鉄  |       |    |    |
| □ラグスクリュー | □鉄  |       |    |    |
| □木栓      | □堅木 |       |    |    |

#### ■使用する接合金物

| 種類        | 仕様       | メーカー | 品名   | 備考 |
|-----------|----------|------|------|----|
| ■ホールダウン金物 | ■Zマーク □他 | ○○○○ | ○○○○ |    |
| ■山形プレート   | ■Zマーク □他 | ○○○○ | ○○○○ |    |
| ■かど金物     | ■Zマーク □他 | ○○○○ | ○○○○ |    |
| ■短冊金物     | ■Zマーク □他 | ○○○○ | ○○○○ |    |
| ■羽子板ボルト   | ■Zマーク □他 | ○○○○ | ○○○○ |    |
| ■筋かいプレート  | ■Zマーク □他 | ○○○○ | ○○○○ |    |
|           |          |      |      |    |

#### ■その他の金物(鋼製火打・鋼製ブレース・制震金物等)

| 種類   | メーカー | 品名   | 備考 |
|------|------|------|----|
| 鋼製火打 | ○○○○ | ○○○○ |    |
|      |      |      |    |

### 6.5.2 接合金物等の品質管理方法 (No.45)

|      |                          |
|------|--------------------------|
| 検査時期 | 現場受入時                    |
| 検査内容 | 指定された製品である事を梱包及び出荷証明書で確認 |
| 検査報告 | ■工事写真 ■出荷証明書 □           |

## 6.6 アンカーボルトの施工

### 6.6.1 アンカーボルトの施工精度の基準 (No.46)

| 内容                             | 基準               |                                                                                          |
|--------------------------------|------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 土台の孔あけ径                        | ■ M12            | 13mm (12mm + 1mm) ※                                                                      |
|                                | ■ M16            | 18mm (16mm + 2mm) ※                                                                      |
| アンカーボルトの位置 (通り芯からの許容誤差)        | □ -3mm から +3mm   |                                                                                          |
|                                | ■ -5mm から +5mm ※ |                                                                                          |
| アンカーボルトの高さ (基準高さからの許容誤差)       | □ -3mm から +3mm   |                                                                                          |
|                                | ■ -5mm から +5mm ※ |                                                                                          |
| アンカーボルトのコンクリート基礎への定着長さ (フック付き) | ■ M12            | 250mm 以上                                                                                 |
|                                | ■ M16            | ■ 360mm 以上 (25kN 以下)                                                                     |
|                                |                  | ■ 510mm 以上 (25kN 超 35.5kN 以下)                                                            |
| アンカーボルトの保持及び埋込み工法              | □ A種 ※           | アンカーボルトの径に適した形鋼等を用いて、アンカーボルトの上下を固定できるように、鉄筋等で補強して堅固に組み立て、あらかじめ設けた支持材に固定して、コンクリートの打ち込みを行う |
|                                | ■ B種 ※           | アンカーボルトを鉄筋等を用いて組み立て、適切な補助材で、型枠の類に固定し、コンクリートの打ち込みを行う                                      |

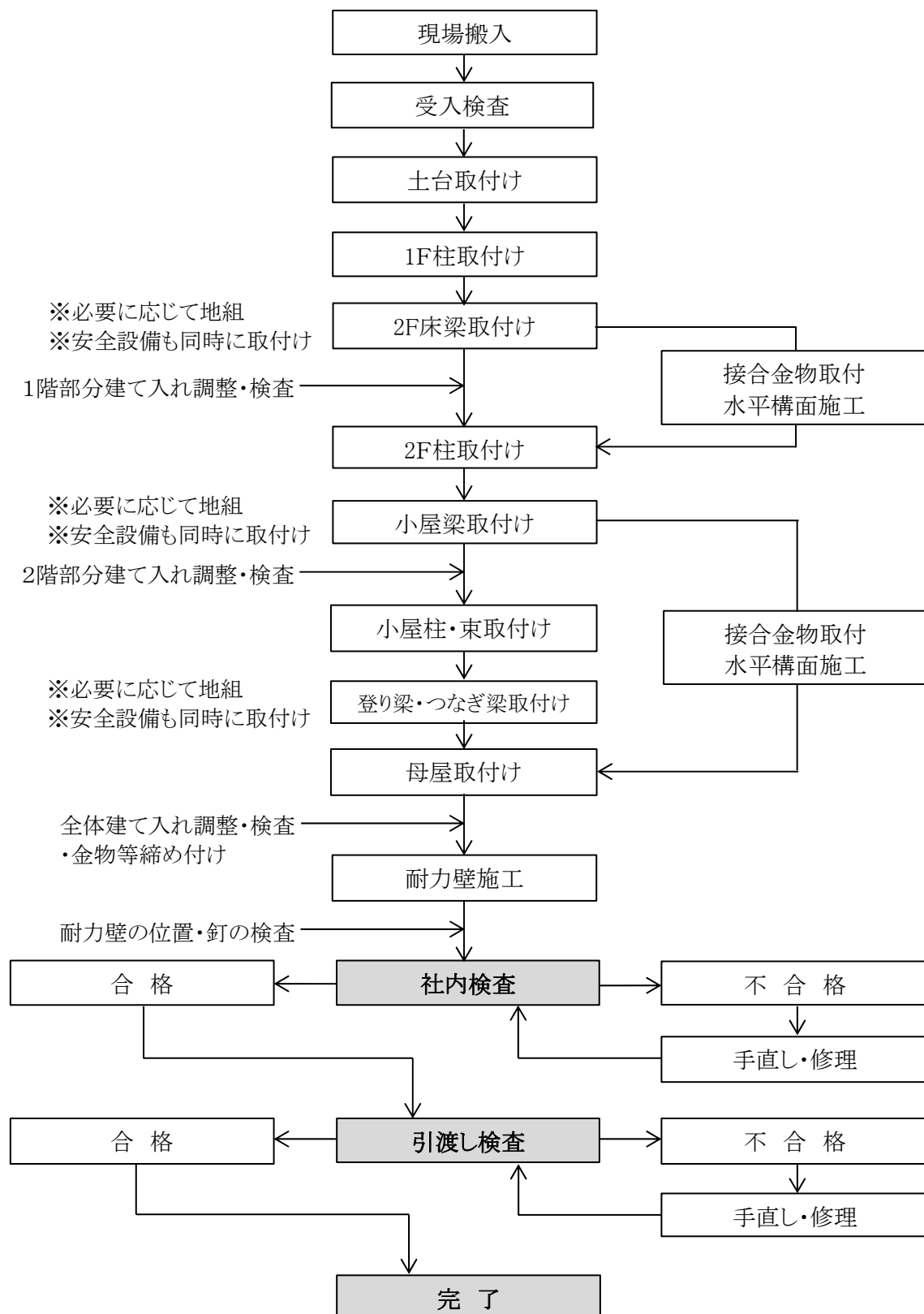
※公共建築木造工事標準仕様書5.4.3、5.5.3

### 6.6.2 アンカーボルト施工の品質管理方法 (No.47)

|      |                                                                                                                        |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 検査時期 | アンカーボルト設置後 (コンクリート打設前)                                                                                                 |
| 検査内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・土台の孔あけ位置・径</li> <li>・アンカーボルトの位置、土台からの高さ、定着長さ</li> <li>・アンカーボルトの保持状態</li> </ul> |
| 検査報告 | ■ 工事写真   ■ 図面 (検査記録)   □                                                                                               |
| 検査立合 | ■ 元請業者   □ 監理者   □ 監督職員                                                                                                |

## 6.7 建て方の施工計画

### 6.7.1 建て方フロー (No.48)



### 6.7.2 建て方計画図 (No.49)

- ・別紙の建て方計画図による。【第6章 施工計画書添付図書参照】

### 6.7.3 搬入計画 (No.50)

- ・搬入計画は、建設工事における製材などの部材の輸送から搬入について計画する。実施に関しては関係法令諸規定に従って、安全かつ丁寧に輸送する。

#### (1) 使用車両と搬入部材

| 出発地点         | 使用車両  | 搬入部材    |
|--------------|-------|---------|
| ●●●●株式会社●●工場 | 4tロング | 製材・集成材等 |

#### (2) 発送・搬入

- ・道路状況及び交通規制を調査し、各種許可申請が必要な場合は、これを取得する。
- ・発送時に運搬車両毎の部材リストを作成し、運搬部材の受け入れ管理を行う。
- ・現場での入退場は、当社の指示・誘導による。
- ・現場での入退場に際しては、第三者に対する安全を確保し、必要に応じて誘導員を配置する。
- ・事情により途中で積み替え等を行う場合は、各種法令を遵守し、安全に積み替え作業が行える場所を確保する。

#### (3) 荷降ろし

- ・作業指揮者を選任し、その指揮の下で荷降ろし作業を実施する。
- ・吊り荷重に応じて、荷降ろしに用いる道具類を確認する。
- ・玉掛け作業は、有資格者によって行う。
- ・部材置場は建て方計画図に示す。

#### (4) 現場での保管

- ・現場搬入された部材は地面に直接置かず、平坦な場所に台木等を敷き、その上に水平に保管する。
- ・保管する木材の樹種や長さにより、台木等の跡が付く場合があることから、台木等の本数、間隔、緩衝材の要否は専門業者等と協議の上、定める。
- ・金物類も地面には直接置かず、平坦な場所にパレット等を置き、その上に保管し、養生シート等で覆う。
- ・木材保存剤は水に溶脱し易いため、現場搬入以後の薬剤の溶脱を防止するための養生方法は専門業者等と協議し、十分に検討する。
- ・地域認証材や森林認証材等、複数の規格の異なる認証材等を取り扱う場合には、これらが煩雑にならないよう視覚的に識別しやすくすることや、エリアを区分して管理する等、仕分け管理に十分注意する。

### 6.7.4 使用重機 (No.51)

| 項目   | 内容            |
|------|---------------|
| 使用重機 | 25tラフタークレーン   |
| 設置場所 | 建て方計画図参照      |
| 使用期間 | 令和●年●月●日～●月●日 |
| 作業時間 | AM8:00～PM5:00 |

### 6.7.5 建て方 (No.52)

| 作業項目              | 作業内容・留意点                                                             |
|-------------------|----------------------------------------------------------------------|
| ①搬入仕分け            | ・部材の受け入れは工場からの明細と照合する。                                               |
| ②地組               | ・地組ヤードは砂利敷き等とし、作業員の足元の汚れが地組材に付着することを防止する。                            |
|                   | ・架台の設置は水平になるように設置するまた、地組部材の組み立てに適した形状とする。                            |
|                   | ・部材をセットする。                                                           |
| ※トラス等の組立て精度を要する架構 | ・接合金物を取付ける。                                                          |
|                   | ・地組部材の組み立て精度を計測し、記録をとる。                                              |
|                   | ・ボルト類の本締めを行う。                                                        |
|                   | ・地組部材が運搬移動に耐えられるように補強する。                                             |
|                   | ・精度を再計測し、報告書に記載する。                                                   |
| ③建て方              | ・土台にアンカーボルトの位置に合わせた孔あけを行い、土台を取り付ける。                                  |
|                   | ・ねこ土台がある場合は、メーカー施工要領書等に従いアンカーボルト、柱の直下、土台継手の下に確実に入れる。                 |
|                   | ・土台設置後建て方まで雨天が予想される場合は、柱のほぞ穴等にテープ養生を行い雨水が穴に溜まらないようにする。               |
|                   | ・柱をベースプレートに立てる場合、ベースプレートのボルトを本締めした上で柱を立てる。                           |
|                   | ・1階床合板を先行施工する場合は、天候に関わらず床面の養生を行う。                                    |
|                   | ・建て方順序は建て方計画図の記載順序に従う。                                               |
|                   | ・柱は当日梁を架設する範囲まで立てる(柱だけで立っている状態で作業を終了しない)。                            |
|                   | ・建前カケヤ等により柱を土台ほぞ穴に確実に固定する。                                           |
|                   | ・梁は外周部の足場を利用して、外周部より架設する。                                            |
|                   | ・1階部分の建て入れ調整及び検査を行う。                                                 |
|                   | ・仮筋かいを設置する。                                                          |
|                   | ・羽子板ボルトや引き寄せ金物等の締め付けを行う。                                             |
|                   | ・2階床合板は2階柱を立てる前に設置する。                                                |
|                   | ・2階柱・梁の施工順序は1階と同様とする。                                                |
|                   | ・屋根架構を設置する。                                                          |
|                   | ・基準風速や強風の実況に配慮して、垂木や小屋束などに接合金物を設置する。                                 |
|                   | ・当日屋根架構を設置する範囲に野地板を張る。                                               |
|                   | ・棟換気となる場合は、棟部で野地板が換気を妨げないように概ね60mm程度空けて留め付ける。                        |
|                   | ・野地板を張る部分は当日中に防水シート張りを行う。防水シート張りが施工できない場合は養生シート等で覆う。                 |
|                   | ・屋根架構まで終了した部分は建て入れチェックを行い、建て入れ修正を行う。                                 |
| ④建て入れ調整           | ・建て方途中でも建て入れ確認を行い、都度修正し、建て方を進める。                                     |
|                   | ・建て入れは下げ降りを垂らし(又は建て入れ計測器具を利用)、その垂直度を建て方精度基準に基づき確認し、建て入れを調整する。        |
|                   | ・建て入れ調整後は、戻り止めとして必ず仮筋かいを設ける。                                         |
| ⑤ボルト等の締め付け        | ・建て入れ調整後、本筋かい・構造用面材の本留付け及び柱頭・柱脚金物のボルトの締め付けを行う。スプリングワッシャーがつぶれるまで締め込む。 |
|                   | ・ドリフトピンは叩き込みによりピン穴に挿入する。                                             |

### 6.7.6 建て入れ測定 (No.53)

- ・建て入れの測定を行い、建て方精度基準に基づき調整を行う。許容範囲に入らない場合は監理者と協議し、適切な処置を行う。

### 6.7.7 社内検査 (No.54)

#### (1) 本締め確認

- ・建て入れ直しが完了した時点で全てのアンカーボルト及びビスが本締めされていることの確認を行う。
- ・ダブルナットをかけ、アンカーボルトの先端ねじがナットの外に3山以上出ていることを確認する。
- ・ボルト本締めの検査方法は、建て入れ調整完了後、目視によりボルトの出を確認する。

#### (2) 部材の汚れ・傷・割れの確認

- ・建て方中についた汚れ・傷について確認を行い、以下の方法にて処置を行う。
- ・ただし補修により色ムラが考えられる場合、監理者と協議の上補修作業を行う。

| 状況 | 補修方法             |
|----|------------------|
| 汚れ | 布拭き              |
|    | 漂白剤・薬剤の塗布        |
|    | ベルトサンダーによる表面研磨処理 |
| 傷  | エポキシ系パテ埋め処理      |
|    | ベルトサンダーによる表面研磨処理 |

### 6.7.8 安全作業基準 (No.55)

#### (1) 墜落・落下防止設備

- ・高さが2m以上の場所で、墜落の恐れのある作業を行う場合は、足場を設け、作業床を確保する。
- ・高さが2m以上の作業床の端部、開口部等で墜落の恐れのある所には、囲い、手摺等を設ける。
- ・高さが1.5m以上の場所の作業には、昇降設備を設ける。
- ・安全帯等を安全に取り付けるための設備等を設ける。(親綱、親綱支柱)
- ・脚立は最上段での作業禁止など、正しい使用方法を厳守する。

#### (2) クレーン作業

- ・荷の量、積卸し位置、クレーンの設置位置、操作の方法を確認する。
- ・鉄板等敷設の措置、アウトリガーの張り出しを確認する。
- ・強風時における荷崩れや転倒防止のため、天候には十分留意する。
- ・作業開始前に玉掛用ワイヤーロープ、布帯等を点検し、不具合のあるものは使用しない。
- ・木材の吊上げは、布帯等を用いるとともに、吊上げ位置には、必要に応じて保護治具を用いて傷等がつかないように吊上げ作業を行う。
- ・木材を吊上げる時は、吊り荷重を考慮する。また、必ず2点支持以上にて吊上げる。その際の吊り角度は60度以内とする。また、介錯ロープを設置する。
- ・クレーンで吊上げる場合は、フレームが地上から離れた時に巻上げを一時停止し、吊り荷の状態、風の影響等を確認後、吊上げを開始する。
- ・木材は、重量が軽い上に、梁等は表面積が大きく風の影響を受けやすいため、風が強い場合には吊上げ物のバランスについて特に安全を確認するとともに、クレーンの足元の設置状況や設置圧も十分に確認する。
- ・フレーム吊上げの際、無理な変形を生じることが予想される場合には、補強を施した上で吊上げ作業を行う。

### 6.7.9 養生計画 (No.56)

#### (1) 発送・搬入時

- ・運搬中の変形・破損を生じないように注意して積み込む。
- ・運搬方法、運搬距離、現場での保管期間等を考慮し、荷崩れや汚れ等に対する適切な養生計画を専門業者等と協議し、バンド等による梱包やシート等による養生等の対応を行う。
- ・荷降ろしに際しては、部材に汚れや損傷を与えないような措置を講ずる。

#### (2) 建て方前現場保管時

##### < 汚れ・雨対策 >

- ・雨、雪、粉塵等に晒されないように養生シート等で覆う。
- ・水の跳ね返りによる汚れ防止のため、シートを敷く等の対応も必要である。
- ・特に地面に近い部材は高含水率になり反りなど狂いを生じる可能性があるため、通風を確保するように保管する。
- ・工場出荷時の梱包は使用するまで極力外さない(ただし、多湿期などにおいてカビ等の発生の恐れがある場合には適切な通風の措置を施す)。
- ・木材はセメント等のアルカリに触れると変色するほか、鉄筋や鉄骨の錆、油分などが木の表面に付くと落ちない汚れとなるため、屋外に保管する際は特に注意が必要である。

##### < 変形・損傷が生じた場合の対応 >

- ・保管時に部材に変形や損傷が生じた場合には、専門業者等と協議の上、修正可能なものは建前方に修正し、修正不可能なものは直ちに交換する。

#### (3) 建て方時

##### < 損傷・汚れ・雨対策 >

- ・工事中に木材に傷が付かないように養生カバー等を適切な方法を用いて保護する。
- ・建て方中の仮置き部材には適当な台木等を使用し、直接地面に置かないようにし、養生シート等を掛ける。
- ・梁等の建て方に仮設受材(サポート)を使用する場合は、仮設受材のめり込みに注意し、仮設受材の間隔やクッション材を敷く等の対応を専門業者等と協議の上、定めることが必要である。
- ・楊重の際に大断面や長大部材の場合は、布帯等を使用しても自重によるめり込み、角の欠け等が生じやすいため、角当て材等の養生を検討することが必要である。
- ・木材に撥水性塗料の塗布や、シート巻等により保護する他、建物全体をシート等で覆うことも検討する。

##### < 安全対策 >

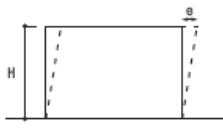
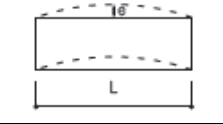
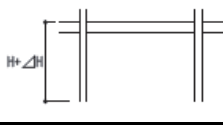
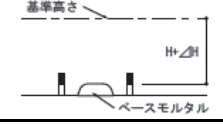
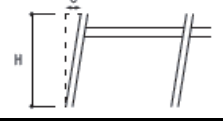
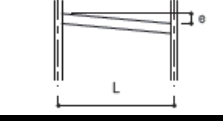
- ・建て方の進捗に合わせて転倒防止として布帯等を介してワイヤーロープ等をたすきに張る。  
ワイヤーロープは建て入れ直しと兼用とする。
- ・建て入れ直し完了後は、戻り止めとして、梁柱間に仮筋かいを設ける。
- ・作業終了時や天候等により建て方を一時中断する場合は、構造物の安全を確認し、必要に応じて仮筋かいを設ける。

#### (4) 建て方後(屋根下地材施工前)

- ・屋根葺材の施工完了前段階にて、必要に応じて床面や屋根面の合板をシートで覆い、雨がかりを防ぐ。
- ・木材が仕上がり面となる場合は、日焼けや色むらを防止するため、養生シートで全面覆う等の養生の検討が必要である。
- ・木材の出隅部分は損傷しやすいため、工事中の損傷及び汚染防止対策として、クッション材で被う等の対応が必要である。

## 6.8 建て方の施工精度

### 6.8.1 建て方の精度基準 (No.57)

| 内容       | 図                                                                                   | 許容値                                                        |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| ■建物の倒れ   |    | ■ $e \leq H/2500 + 10\text{mm}$ かつ $e \leq 50\text{mm}$ ※1 |
|          |                                                                                     | □ $e \leq H/4000 + 7\text{mm}$ かつ $e \leq 30\text{mm}$ ※2  |
|          |                                                                                     | □ $e \leq H/1000$ ※3                                       |
| □建物の湾曲   |    | □ $e \leq L/2500$ かつ $e \leq 25\text{mm}$ ※1               |
|          |                                                                                     | □ $e \leq L/4000$ かつ $e \leq 20\text{mm}$ ※2               |
|          |                                                                                     |                                                            |
| □階高      |    | □ $-8\text{mm} \leq \Delta H \leq +8\text{mm}$ ※1          |
|          |                                                                                     | □ $-5\text{mm} \leq \Delta H \leq +5\text{mm}$ ※2          |
|          |                                                                                     |                                                            |
| □柱据付面の高さ |    | □ $-5\text{mm} \leq \Delta H \leq +5\text{mm}$ ※1          |
|          |                                                                                     | □ $-3\text{mm} \leq \Delta H \leq +3\text{mm}$ ※2          |
|          |                                                                                     |                                                            |
| ■柱の倒れ    |   | □ $e \leq H/700$ かつ $e \leq 15\text{mm}$ ※1                |
|          |                                                                                     | □ $e \leq H/1000$ かつ $e \leq 10\text{mm}$ ※2               |
|          |                                                                                     | ■ $e \leq H/1000$ ※3                                       |
| ■梁の水平度   |  | □ $e \leq L/700 + 5\text{mm}$ かつ $e \leq 15\text{mm}$ ※1   |
|          |                                                                                     | □ $e \leq L/1000 + 3\text{mm}$ かつ $e \leq 10\text{mm}$ ※2  |
|          |                                                                                     | ■ $e \leq L/1000$ ※3                                       |

※1 日集協「中大規模木造建築の担い手講習テキスト」(令和2年10月)の「限界許容差」

※2 同テキストの「管理許容差」 ※3 公共建築木造工事標準仕様書

### 6.8.2 建て方の品質管理方法 (No.58)

|      |                      |
|------|----------------------|
| 検査時期 | 建て方後                 |
| 検査内容 | 検査項目が許容値以内であることの確認   |
| 計測方法 | 下げ降り、垂直定規            |
| 計測範囲 | 各階X●●●●通りとY●●●●通りの交点 |
| 検査報告 | ■工事写真 ■図面(検査記録) □    |
| 検査立合 | ■元請業者 □監理者 □監督職員     |

## 6.9 接合部

### 6.9.1 接合部の施工管理の内容 (No.59)

| 接合方法                      | 管理項目       | 管理内容                                                          |
|---------------------------|------------|---------------------------------------------------------------|
| ■釘接合                      | 種類、長さ、配置、数 | 指定された釘の種類、長さ、配置、数                                             |
|                           | めり込み深さ     | 面材の厚みの10%未満かつ1mm以下                                            |
|                           | 端縁距離(へりあき) | 面材へのへりあき:10mm以上かつ面材厚さ×0.8以上<br>軸材へのへりあき:20mm以上かつ面材厚さ×0.8以上    |
|                           | その他施工状態    | 打ち損じ、増し打ち処理、がたつき、主材・面材の割れ、金物との干渉等                             |
| □木質構造用ねじ接合                | 種類、長さ、配置、数 | 指定された木質構造用ねじの種類、長さ、配置、数                                       |
|                           | 木材への先孔     | 径・深さ等はメーカー指定の方法への適合                                           |
|                           | その他施工状態    | がたつき、めりこみ、打ち損じ、材割れ等                                           |
| ■ボルト接合                    | 種類、長さ、配置、数 | 指定されたボルトの種類、長さ、配置、数                                           |
|                           | その他施工状態    | 座金のめりこみ、ねじ山の出(2～3山)、がたつき、緩み止め・戻り止め・木痩せ対応(スプリングワッシャ等)、埋木(防火被覆) |
| □ドリフトピン接合                 | 種類、長さ、配置、数 | 指定されたドリフトピンの種類、長さ、配置、数                                        |
|                           | 施工状態       | がたつき、材割れ、抜け対策、埋木等                                             |
| □ラグスクリュー(コーチスクリュー・コーチボルト) | 種類、長さ、配置、数 | 指定されたラグスクリューの種類、長さ、配置、数                                       |
|                           | 木材への先孔     | 径・深さ等はメーカー指定の方法への適合                                           |
|                           | その他施工状態    | がたつき、めりこみ、打ち損じ、材割れ、埋木等                                        |

### 6.9.2 接合部の品質管理方法 (No.60)

|      |                   |
|------|-------------------|
| 検査時期 | □施工時 ■施工完了時       |
| 検査内容 | 上記の通り             |
| 検査報告 | ■工事写真 ■図面(検査記録) □ |
| 検査立合 | ■元請業者 □監理者 □監督職員  |

## 6.10 耐力壁

### 6.10.1 耐力壁の仕様 (No.61)

#### ■面材耐力壁

| 項目    | 内容     | 備考                                                                                                                 |
|-------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ■大壁仕様 | 使用する面材 | <input type="checkbox"/> 構造用合板 ■繊維板(MDF)                                                                           |
|       | 厚さ     | <input type="checkbox"/> 12mm ■9mm                                                                                 |
|       | 留付け釘   | ■N50 ■NZ50 ■N50 ■NZ50                                                                                              |
|       | 壁倍率    | ■2.5倍 <input type="checkbox"/> 5.0倍 <input type="checkbox"/> 3.7倍 ■4.0倍                                            |
|       | 釘打ちの間隔 | ■@150 <input type="checkbox"/> ■@75(外周)<br>■@150(中通)                                                               |
|       | 使用する面材 | <input type="checkbox"/> 構造用合板 ■火山性ガラス質複層板 大建工業(ダイライト)                                                             |
|       | 厚さ     | <input type="checkbox"/> 12mm ■9mm                                                                                 |
|       | 留付け釘   | ■N50 ■SF50 <input type="checkbox"/> CN50 <input type="checkbox"/>                                                  |
|       | 壁倍率    | ■2.5倍 <input type="checkbox"/> 5.0倍 <input type="checkbox"/> 3.7倍 <input type="checkbox"/>                         |
|       | 釘打ちの間隔 | ■@100(外周) <input type="checkbox"/> @75 <input type="checkbox"/><br>■@200(中通)                                       |
| □真壁仕様 | 使用する面材 | <input type="checkbox"/> 構造用合板 <input type="checkbox"/>                                                            |
|       | 厚さ     | <input type="checkbox"/> 12mm <input type="checkbox"/> 9mm                                                         |
|       | 受材の大きさ | ○×○ (30×40以上)                                                                                                      |
|       | 留付け釘   | <input type="checkbox"/> N50 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> CN50 <input type="checkbox"/>       |
|       | 壁倍率    | <input type="checkbox"/> 2.5倍 <input type="checkbox"/> 5.0倍 <input type="checkbox"/> 3.3倍 <input type="checkbox"/> |
|       | 釘打ちの間隔 | <input type="checkbox"/> @150 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> @75 <input type="checkbox"/>       |

#### □筋かい耐力壁

| 項目    | 内容                                                              | 備考 |
|-------|-----------------------------------------------------------------|----|
| 材料区分  | <input type="checkbox"/> JAS構造用製材 <input type="checkbox"/> 無等級材 |    |
| 樹種    | <input type="checkbox"/> すぎ <input type="checkbox"/>            |    |
| 寸法    | ○×○                                                             |    |
| 本数    | <input type="checkbox"/> 片側 <input type="checkbox"/> たすき掛け      |    |
| 倍率    | ○倍                                                              |    |
| 含水率   | <input type="checkbox"/> 20%以下                                  |    |
| 材面の品質 | <input type="checkbox"/> 割れ等の欠点がないこと、丸みのないこと                    |    |

#### □鋼製ブレース耐力壁

| 項目   | 内容   | 備考 |
|------|------|----|
| メーカー | ○○○○ |    |
| 製品名  | ○○○○ |    |
| 倍率   | ○倍   |    |

### 6.10.2 耐力壁の施工管理の内容 (No.62)

#### ■面材耐力壁

| 管理項目       | 管理内容                                         |
|------------|----------------------------------------------|
| 耐力壁の配置     | 指定された配置                                      |
| 耐力壁の仕様     | 指定された面材、釘の種類、長さ、間隔                           |
| 端縁距離(へりあき) | 10mm以上かつ面材厚さ×0.8以上                           |
| 面材への孔あけ    | (一社)中大規模木造プレカット技術協会 木造軸組接合部標準図(4)貫通孔のルールに基づく |
| その他施工状態    | 受材、間柱、中棧の施工状態、貫通孔の施工状態、釘のめりこみ深さ              |

#### □筋かい耐力壁

| 管理項目    | 管理内容                           |
|---------|--------------------------------|
| 耐力壁の配置  | 指定された配置                        |
| 耐力壁の仕様  | 指定された筋かい                       |
| 筋かい金物   | 指定の金物、留め付け方法                   |
| 隙間      | 筋かいと柱・土台・梁との隙間は2mm以下           |
| その他施工状態 | 筋かいと間柱との取り合い処置、筋かいと床合板との取り合い処置 |

#### □鋼製ブレース耐力壁

| 管理項目   | 管理内容           |
|--------|----------------|
| 耐力壁の配置 | メーカー指定の施工方法による |

### 6.10.3 耐力壁の品質管理方法 (No.63)

|      |                                                                                                                |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 検査時期 | <input type="checkbox"/> 施工時 <input checked="" type="checkbox"/> 施工完了時                                         |
| 検査内容 | 上記の通り                                                                                                          |
| 検査報告 | <input checked="" type="checkbox"/> 工事写真 <input checked="" type="checkbox"/> 図面(検査記録) <input type="checkbox"/> |
| 検査立合 | <input checked="" type="checkbox"/> 元請業者 <input type="checkbox"/> 監理者 <input type="checkbox"/> 監督職員            |

## 6.11 水平構面

### 6.11.1 水平構面の仕様 (No.64)

| 項目      |        |     | 内容            |
|---------|--------|-----|---------------|
| ■2階以上の床 | ■構造用合板 | 床倍率 | 4.0倍          |
|         |        | 面材  | 構造用合板24mm     |
|         |        | 張り方 | 根太なし直張り四周くぎ打ち |
|         |        | 釘   | N75@150       |
|         | □火打    | 材料  | □木製 □鋼製       |
|         | □ブレース  | 材料  | □鋼製           |
| ■屋根面    | □構造用合板 | 床倍率 | 0.7倍          |
|         |        | 勾配  | 3寸勾配          |
|         |        | 面材  | 構造用合板12mm     |
|         |        | 張り方 | 垂木@455転ばし     |
|         |        | 釘   | N50@150       |
|         | ■火打    | 材料  | □木製 ■鋼製       |

### 6.11.2 水平構面の施工管理の内容 (No.65)

#### ■構造用合板

| 管理項目       | 管理内容                                         |
|------------|----------------------------------------------|
| 水平構面の仕様    | 指定された面材、張り方、釘の種類、長さ、間隔                       |
| 端縁距離(へりあき) | 10mm以上かつ面材厚さ×0.8以上                           |
| 面材への孔あけ    | (一社)中大規模木造プレカット技術協会 木造軸組接合部標準図(4)貫通孔のルールに基づく |
| その他施工状態    | 甲乙梁の施工状態、貫通孔の施工状態、釘のめりこみ深さ、耐力壁との取り合い         |

#### ■鋼製火打・鋼製ブレース

| 管理項目 | 管理内容           |
|------|----------------|
| 施工方法 | メーカー指定の施工方法による |

### 6.11.3 水平構面の品質管理方法 (No.66)

|      |                   |
|------|-------------------|
| 検査時期 | □施工時 ■施工完了時       |
| 検査内容 | 上記の通り             |
| 検査報告 | ■工事写真 ■図面(検査記録) □ |
| 検査立合 | ■元請業者 □監理者 □監督職員  |

## 6.12 防腐・防蟻

### 6.12.1 防腐・防蟻の仕様 (No.67)

#### ■高耐久木材・保存処理材

| 使用部位                           | 高耐久材                     | 保存処理材                              |                                                                                     | 備考 |
|--------------------------------|--------------------------|------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|----|
| ■土台                            | ■ヒノキ                     | <input type="checkbox"/> JAS保存処理材  | <input type="checkbox"/> K4 <input type="checkbox"/> K3 <input type="checkbox"/> K2 |    |
| <input type="checkbox"/> 外壁の軸組 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> AQ認証保存処理材 | <input type="checkbox"/> 1種 <input type="checkbox"/> 2種 <input type="checkbox"/> 3種 |    |
| <input type="checkbox"/> 水廻り   |                          | <input type="checkbox"/> ホウ酸(加圧注入) |                                                                                     |    |
| <input type="checkbox"/> その他:  |                          |                                    |                                                                                     |    |

#### ■薬剤の現場塗布

| 塗布部位                          | 薬剤の認定       | メーカー・製品名 | 処理方法                                                       | 処理量   | 備考 |
|-------------------------------|-------------|----------|------------------------------------------------------------|-------|----|
| <input type="checkbox"/> 土台   | ■日本しろあり対策協会 | 〇〇〇〇     | ■塗布                                                        | ■2回塗り |    |
| ■外壁の軸組GL+1m<br>(合板・筋かい含む)     | ■日本木材保存協会   | 〇〇〇〇     | <input type="checkbox"/> 吹付<br><input type="checkbox"/> 浸漬 |       |    |
| <input type="checkbox"/> 水廻り  |             |          |                                                            |       |    |
| <input type="checkbox"/> その他: |             |          |                                                            |       |    |

### 6.12.2 防腐・防蟻の品質管理方法 (No.68)

#### ■高耐久木材・保存処理材

|      |                                                                  |                                                  |
|------|------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|
| 検査時期 | <input type="checkbox"/> 製品検査時 ■現場受入時                            |                                                  |
| 検査内容 | ■高耐久木材                                                           | 指定された樹種である事を出荷証明書又はJASラベル又はJAS印字で確認              |
|      | <input type="checkbox"/> JAS保存処理材                                | 指定された品質の保存処理材である事をJASラベル又はJAS印字、試験成績書等の品質記録により確認 |
|      | <input type="checkbox"/> AQ認証保存処理材                               | 指定された品質の保存処理材である事を認定書及び品質証明書、試験成績書等の品質記録により確認    |
| 検査報告 | ■工事写真 ■出荷証明書 <input type="checkbox"/>                            |                                                  |
| 検査立合 | ■元請業者 <input type="checkbox"/> 監理者 <input type="checkbox"/> 監督職員 |                                                  |

#### ■薬剤の現場塗布

|      |                                                                  |
|------|------------------------------------------------------------------|
| 検査時期 | 施工後                                                              |
| 検査内容 | 塗布部位、薬剤の種類、処理方法、処理量                                              |
| 検査報告 | ■工事写真 <input type="checkbox"/>                                   |
| 検査立合 | ■元請業者 <input type="checkbox"/> 監理者 <input type="checkbox"/> 監督職員 |

## 7 安全・衛生管理

### 7.1 一般共通事項 (No.69)

- ・工事に先立ち、現場の運営管理に必要な、現場代理人を選任する。
- ・あらかじめ定められた工事計画書に基づいて、工事管理を行う。
- ・労働安全衛生法、その他の関係法令等に従って、工事現場の安全・衛生に関する管理を行う。
- ・工事に必要な、官公署その他への手続きは、速やかに行う。

### 7.2 現場の管理体制 (No.70)

- ・現場代理人は、工事に当たり、現場組織体制を定め、監理者の承諾を受ける。
- ・現場代理人は、工事関係者と協力し、工事全体の円滑な進捗を図る。
- ・工事に先立ち、当該工事に係る立地条件等を十分把握した上で、工事の内容に応じた適切な人材(監理技術者、主任技術者)を配置し、指揮命令系統の明確な現場体制を組むとともに、工事関係者に工事の内容や使用機器材の特徴等を周知させる。
- ・工事の一部を協力会社に請負させる場合は、必要に応じて協力会社から、施工要領書、組織作業手順書等の提出を求める。
- ・作業主任者を選任すべき作業については、労働安全衛生法に基づいて作業主任者を選任する。

### 7.3 工事現場の安全・衛生管理 (No.71)

- ・工事に先立ち、安全管理に係る書類を作成し、これに基づいて工事全体及び工程毎の安全・衛生管理を行う。
- ・関連業者を含めた安全衛生協議組織を定めるとともに、定期的に会議を開催し、混在作業の調整、使用機器等の配置・移動等に関する協議を行い、安全作業を図る。
- ・工事に先立ち、緊急連絡体制、防火組織等の体制を整え、突発事故等に備える。
- ・必要に応じて、作業員の休憩所、更衣室、便所、洗面所等の設備を設け、作業員の衛生保持に努める。
- ・工事現場においては、整理・整頓を行い、特に落下物による事故及び墜落等の事故防止に努める。
- ・工事に当たって資格が必要な作業は、その有資格者に行わせる。
- ・作業員に対し、現場への新規入場の際に、現場における安全衛生上の教育を行う。
- ・粉塵による健康障害防止のため、作業員には、防塵マスクを着用、作業着等の清潔保持の励行に努めさせる。
- ・やむを得ず工事現場外の道路上(上空を含む)において、作業し、車両・機械等を置き又は作動させる場合は、通行者等が安全に通行できるよう措置し、誘導員を配置し、公衆災害の防止を図る。
- ・工事計画書・作業手順に基づいて、作業方法・作業内容・作業量等を作業員に周知させる。

#### 7.4 火災防止 (No.72)

- ・火気を使用する場合には、その場所に不燃材料の囲いを設ける等引火・延焼防止する措置を講ずるほか、次の各号の掲げる措置を講ずる。
  - ①火気の使用は、工事の目的に直接必要な最小限度にとどめる。
  - ②火のつき易いものの近くで火気の使用はしない。
  - ③火気の使用場所のそばには消火器・簡易消火用具等の適切な消火用水を準備する。
  - ④作業員用のための暖房用等、直接工事以外の目的に使用する場合には、あらかじめ、その使用場所を指定する。

#### 7.5 巡視 (No.73)

- ・現場代理人による木構造工事現場内及びその周辺の安全巡視を行い労働災害・公衆災害の防止に努める。
- ・工事中に、危険が無いかを点検する。
- ・飛来落下物に対する養生設備の状況を点検する。

#### 7.6 事故発生時の措置 (No.74)

- ・工事中に事故が発生し、又は公衆に危害を及ぼした場合には、直ちに応急処置及び関係機関への連絡を行うとともに類似の事故が再発しないよう対策を講じる。